男女貞潔之理想　會長　島田三郎

公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

6－389

廓清

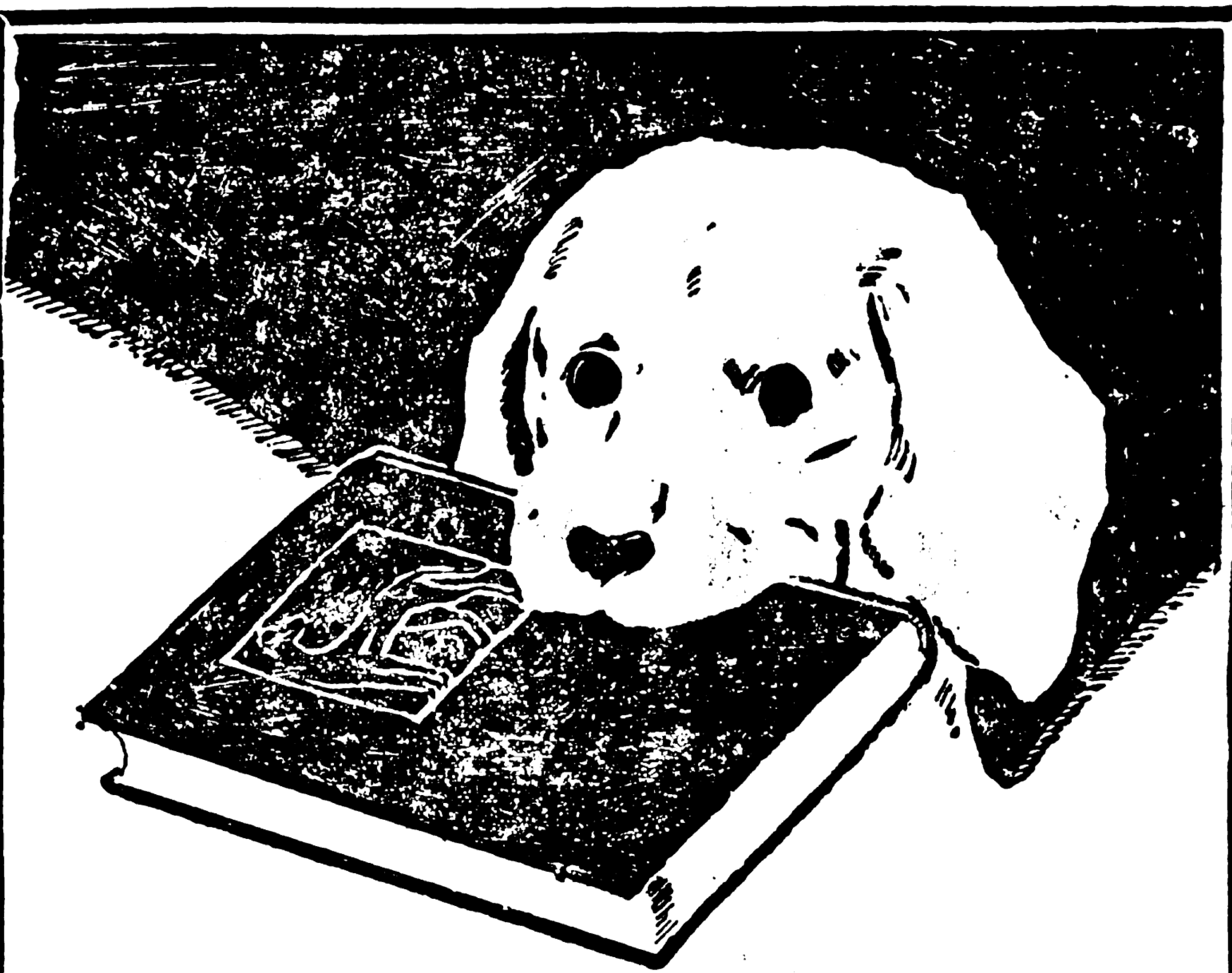
明治四十四年六月一日創刊
大正七年十一月一日第三種郵便物認可
（大正十年十二月十日印刷）
（大正十年十二月十日發行）
（毎月一回十日發行）

第十一卷第十二號

□華府會議の由來……廓清會長　島田三郎
□基教と產兒制限……同副會長　安部磯雄
□日本國民性の批判…早大教授　內ケ崎作三郎
□廢娼建議案の可決…廓清會理事　伊藤江南
□今は大英斷の秋……法學博士　山脇玄
□『燁子劇』に就て……文學博士　藤井健治郎
□風教上より觀た公私娼……木藤冷劍
□華府會議の諸問題…衆議院議員　尾崎行雄
□愛と自由と誠……文學士　三輪田元道
□一年間の我を省みて　救世軍大佐　山室軍平
□謎の世界吉原日記…元吉原病院看護婦　田口和子
□編輯の後……白萩生

東京　廓清會本部　發行

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY



當用日記と云ふものが當然具備すべき條件以外、二百餘頁の百科全書的附錄を有する

定價金一圓
送料 地方十錢 市内六錢

大正十一年

ライオン當用日記

四六判總クロース体裁最も優美
用紙白質優良精緻
●全國各書店あり

ライオン歯磨本舗廣告部
東京本所區外手町
振替口座東京四八三五五番
支店大阪東區博勞町二丁目

廓清
THE PURITY
第十一巻第十二號
大正十年十二月

華府會議の由來

廓清會長　島田三郎

□日米戰爭と日英同盟の關係

華府會議は既に開けて三週間以上に亘つた。日々來る電報はその經過を我々に告げる。之が一貫した思想を、知る人は知るが世間一般にはまだ理解せぬ樣である。大勢は此問題に意を注ぐ者には豫知することが出來る順序であつた。華府會議を論ぜんとせば、先づ國際聯盟と日英同盟の經過竝に性質を知らなければ理解が出來ぬ。

近時日米の間が疎隔せられて種々の風說が傳はつた、甚しきは日米の戰爭は免れずといふものさへあり、之を口にするのみならず筆にする者も現はれて、兩國の空氣は段々變化する樣であつた。それと共に海軍の競爭が激烈で、何か前途に爭の氣遣があつてその準備でもするものゝ如く見えた。晉軍艦の增設のみならず、米國は太西洋の艦隊を太平洋に回航すると云ひ、西海岸に根據地を作らんとして地をア●ラメダに相したとの說もある。双方の國情の眞相を知る者は、別に戰爭の理由ありと考へないが、一般の民衆は是に就て種々の想像を逞うした。

一方英國は此事を氣にかける位置に立つた。その次第は日英條約の期限が本年に盡きんとして、之を繼續するや否やが目前に迫まつた。日英條約は攻守同盟である。現在の儘で繼續すれば萬一日米の間に戰爭が起れば、英國は條約の文に從つて日本の味方として米國に對抗せねばならぬ。五ケ年の大戰を經て歐洲諸國は悉く疲弊の極度に達し、富强天下に冠たる英國も此數に洩れず困難してゐる。英國は戰前に債權國であつた、米國は戰前

は債務國であつた。然るに此大戰を經て位置が顚倒した。今迄米國に貸して居つた英國は、米國から多額の金を借りたのみならず、一國の經濟狀態も一變して倫敦の金融中心が紐育に移ることになつて此場合に日米の戰爭が起つて、英國が此戰爭に參加して米國と戰ふことは意外の難儀である。米國は又太平洋に日本の敵を受け、太西洋に英國の反對に會ふ、是も苦しい、兩國は卽ち日米戰爭の風說に煩悶せざるを得なかつた。

□露倒壞と英殖民政策の變化

此外英國が態度を一變すべき形勢が生じた。戰爭以前の英本國と諸殖民地とは本屬の關係はあつた。處が獨逸を中心とする中央歐羅巴の反對を受けて、死活問題を決せんとする大戰に於て、英國は諸殖民地の援助を得けること一層大なるものがあつた爲めに、關係は變じ、從來殖民大臣が議長で屬國會議があつたが、總理大臣が議長で殖民地會議を開くことになつた事から、殆んど聯邦の如く、英國を中心として團結したる一大帝國となつた。諸殖民地は義務を本國に負ふこと大となり、又本國も殖民地に義務を負ふこと大となつた。殖民地に投票權を與へて英本國は六票の投票權を得ることゝなつた。戰後の處分を議するに當つて、本年夏殖民地會議を開いた時、殖民地より種々の要求があつたらしい、秘密會議でその內容を詳にするを得ないが、新聞紙の口調その他で推測するに、その一問題は日英同盟存續の可否の問題で、殖民地は廢止の希望を有つものが多かつたらしく思はれる。是は尤もなこととて、露西亞が大陸軍國として、印度を脅かし滿洲に迫まる形勢があつた時は、日本も英國も露西亞に對して同一の利害を有つてゐるから、同盟して露國を共同の敵とする盟約が必要であつたが、侵略國の露西亞が倒れて、現在の有樣となつてから、陸軍國でもなければ侵略國でもなく、內は亂れて外に手を延ばすの餘地なく、恐る可しとすれば、それは所謂過激思想位のもので、軍國露西亞としては恐るゝに足らなくなつた。故に日英は共同の必要を感ぜない、消極的に不必要なるは明かである。

更に英國から云へば、此同盟の爲めに大なる不利を感ずる。日米戰爭のそれである。此盟約を存續して日米の間に戰が起れば、米國が英國を敵とすると同時に、米國は英國の本國に遠い殖民地を取る事は第一の働きとなる。加奈陀領は直に米國に襲はるゝであらう。濠洲、新西蘭は加奈陀領の如く接近しては居らぬが、英の本國に遠くして米國は却つて太平洋の隔りのみで、直に比律賓に足溜りがある。斯の如き形勢であるから、加奈陀領の英人と濠洲の英人は日英同盟を廢したいといふ希望を言ひ表はしたに相違ない。

併し乍ら英國は對獨戰爭に於て、日本に感謝の意を屢述べてゐるから輕々しく斷つに忍びざる情誼がある。茲に於て英國の政治家は日英同盟を日英米協調に變じて太平洋の安泰を保ち、かねて印度に對し日本の條約を繼續してその利益を收めるの得策なるを考へたらしい、此に英國か米國の內で一の會議を催さうといふ意志が起つた。

□國際聯盟の絕縁と米の立場

米國は又國際聯盟の仲間はづれをして、世界の平和的事業に全く緣故を斷つてゐるのは、國民の潔しをせざる處で、特に民主黨は此念が深いであらう。共和黨政府は何とか此の面目を立てゝ世界の文明に寄與するの榮譽を全くしたいとの考があつたらしい。斯かる意見が內部に生じつゝある際、他の方面から日英米三國協商を必要とする理由が生じた。それは外でもない經濟及財政上の困難を救ふには、費用多端の軍備を減ずるの必要がある。此點から發意して特に費用多き海軍の競爭を止めたいとの說が生じた。大戰爭の結果歐羅巴の諸國は皆困窮してゐる。是は衆人普く知る事實である。戰爭によつて國威を發揚した米國は、財政も經濟も樂であらうと思へば大なる誤りで、やはり同樣に困窮してゐる。昔の戰爭は勝つた者は樂であつたが、現在の戰爭は負けた者勿論損害大であるが、勝つた者も亦同樣の痛手を負ふ、其の實例が米國で、戰爭の間經濟が膨張した。品物は賣れた聯合國を勝たしめんが爲め多額の金を貸した。遂に二百萬の兵を出して戰爭に參加した。素張らしい勢ひであつたが、戰は終つて見れば財政も經濟も非常な困難に陷り、品物も賣つたが皆懸け賣りで、元利とも取れない。二百萬の兵の出たあとは婦人や少年で勞働の空虛を補つたが、歸つて來て失職者が續々現はれる、軍隊の年金や傷病兵の手當や戰死者の遺族手當やに要る金は多くして、出た金は少しも這入らぬ。其上從來歐羅巴に賣つてゐた品物は歐羅巴の困窮の爲めに賣れぬ。租稅は公債の爲めに非常に殖えた。此等の爲めに米國も經濟は切迫し、財政も困窮して可とかせねば處置がつかぬ程の狀態にある。

□國家經濟疲弊挽囘策と軍縮

茲に財政節約の議が生じて、差向き二つの理由から海軍の協商を求むるに至つた。世界の大戰に懲りて戰の起らぬ樣にしたい。軍備を擴張すれば其の極度は破裂して戰爭を誘起するは英獨の競爭によつて知れた事實である。日英米が擴張するは危險の兆候であるから、戰爭を防止する爲めに此の競爭を止めたいといふので、三國の協議によつて此無駄なる消費を減じたいとの論を生じた。上院議員ボーラ氏が之を發議したが、次第に勢力を得て、英國もそれなら結構だといふ意志があるから、双方意氣相通じて遂に米國が意を決して此の會議を開くに至つたのである。

併し軍備を減ずるといふた處で却々容易のことでない。是を止める時は造船家や造兵家の損失は多大で、經濟上一大變化を起すから、其の始めは情實上あまり火の手は揚がらなかつたが、此處は流石に民主國の亞米利加で、民間に平和を鼓吹し、軍備縮少の聲を非常な勢ひで擧げた本年五月のシカゴの大會には、敎會勞働者婦人の各團體が、軍備縮少すべし戰爭防止すべしとの希望を以て、各敎會は六月一日を以て一齊に平和論を鼓吹するの說敎をなす事を決議し、婦人團體も亦事務所を設けて議員を監視し、勞働者は各地に集會を開き平和論を鼓吹する事となつた。民主黨は豫ねて國際聯盟の趣意によつて縮少せんとしたことであるから、勿論之に加はつた。共和黨の內からも有力者がボーラ君を始め一致して平和

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

論を唱へた。此秋に於て最早米國の國論は一定したといふて宜しいのである。大學の敎授も學生も之に力を添へた。現にプリンストン大學は、新入の學生に總長が告げて『諸君は理想としては軍備の撤廢を期せ、目前の事實としては華府會議を贊成せよ』といふた。學生は感奮して百の大學に招きを發して四十校參加した。又三萬人の連署した平和皷吹請願書を携へて三人の總代が大統領に謁見して軍備縮少の成功を望むの趣意を述べた。是は宗敎家の團體の總代であつた。如斯各種の方面から平和論は沸騰したのである。

□日本國民の國際知識と輿論

日本に招待狀が來た時には米國の國論は確乎として動かぬものがあつた。日本は國際的智識が今少しあつたら、華府會議の性質も分つて居る筈であつたが、日本に此の通知が來た時、何事ぞ『國難來れり』と叫んだ者があつた。全く海外の事情に暗いからである。或る軍人は『空論だ今回もヘーグ會議の如く小田原評議だらう』といふたが、二十年間の日月が如何に進步したか、又世界の大戰によつて獨逸の潰崩を見て如何に平和思想が高まつたかを知らぬ迂論て、如斯人達は此會議に就て豫見することが出來なかつた。

此外二つの事情は特に平和思想を激進せしめた。多年軍備を整頓して萬遺策なきを期した獨逸が潰崩したことて、是によつて暴力は正義に勝たぬ實敎訓を示したことが其一てある。利器を殺人の器械に應用して種々巧妙なる新器を創造したとへば潜航艇の如き二三千哩の遠きにも水中を走つて堅艦を一擧に覆すものがあり、飛行機が自在に空中を往來して都會を一抛に焚盡するものがあり、毒瓦斯を放して一時に千百人を鏖殺するものがある。更に發表せられないが、萬一次の戰があれば數滴の毒液人を殺すに足る如き恐るべきものがある。昔の武器を以て戰つたのと、今の器械や藥液を以て戰ふのとは、人を殺す多少に非常に差があるから、此後に戰爭が起れば文明の破壞てあるといふ非常に戰慄すべき事實を敎へたから、志士仁人は此戰爭の慘禍を免れたいとの思想が高まつた。此他勝つものは領土、財寶、奴隷を得た。羅馬の富は如斯にして富んだ。今は勝つたものも負けた者も共に損害を蒙ることは明瞭になつた。恐るべきは戰爭である。忌むべきは戰爭である。斯の如き事情の下に國際聯盟が前に起り、國際會議が後に現はれたのてあるから、如何なる經過を見るも、軍備の縮少は必ず其功を奏すること疑ひない、日米の戰爭の如きは兩國の諒解を得て誠意を以て之に從事すれば斷然兩國の疑雲を散して、太平洋を長く太平にすることが出來ると思ふ。

□日米戰爭不能と永遠の平和

戰爭說を頻りに唱ふる者もあるが、兩國とも其本國を直接襲ふの意なきは專門家の共に確言する處てある。兩國の間には五千哩の隔りがある。大海軍の五千哩を直行して其隊を整へる場所がなければ、直に敵を打つことは出來ぬ。彼も我を襲ふ事が出來ず、我も彼を打つことが出來ぬは明瞭てある。唯米國が布哇に據り、比律賓グアムを有するから、此の距離

が短くなつた。是等の地は大海軍を繋留する軍港を完全に作れば、米軍が日本を脅かすの虞れなしとせぬ。今回の會議に於て太平洋の防備を撤すれば、兩國として互に爭はしむる機緣を斷つの有效なる事業である。此事はまだ華府會議の議題に上らざるも、我より要求すべき正當なる主張でなければならぬ。

日米戰爭の理由も必要もなく、戰はぬことを心とせば、戰艦はなるたけ減ずべし、或場合に於て戰ふ積りなら、隻數も噸數もなるたけ多かるべし、乍併戰はぬと定めたら、我も減じ彼も減ずるがよいてはないか、太平洋の防備を解けば、船の數に於て必ずして噸數を爭ふを要せぬと思ふ。

米國の有數の新聞を見るに戰爭の愚擧なることを痛論して國論は一定してゐる。日本の米國を疑はず、米國にして日本を信ぜば、此問題は適當の解決をすることを疑はぬ。兩國とも多數の國民は戰ふの意なきは明かである。唯異るは彼は明白に民意を發表するの機關が整ふてゐるが、日本は之に反し、少數の有志家が其持論を發表し、その團體の意見を世に示すも、一般の民衆は如斯大事件大問題に對して、殆んど理解せざるが如き國情の相違と進步の程度の高下に歸せねばならぬ。自分の持論としては米國の善良なる人々と意氣相通じ之を人類問題として戰爭の慘禍を人類より驅逐すべきである。而して其費用を移して文化進步の資源とし國家の爲めに就中頽廢に歸してゐる敎育に注ぎ、理解ある國民を作るが急務である、此點に於て國民の覺醒を特に希望する次第である。

基督教と新マルサス主義

廓清會副會長
早稻田大學敎授　安部磯雄

□產兒制限說と宗教家の誤解

新マルサス主義と云ふ事は大分廣く人々に知られる様になつて來たのであつて、戰後などは殆んど凡ゆる新聞と雜誌に載せられた位ゐであつたが、近來は餘り見えなくなつた。然し矢張り多少は見える。

十數日以前に私が之に就て萬朝報に話して以來、南は廣島から北は北海道方面からまで大分書面を出して、此の新マルサス主義卽ち產兒制限の實行方法に就て尋ねて來た。私は勿論自分で敎へるよりも直接醫者に聞く方が宜いと思つたから皆な懇意な醫者を紹介して遣つた。

近來此の產兒制限法は多數の人々が切りに要求して居るけ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

れども、其の方法を知らない爲め、遂に泣寢入になつて居る樣な狀態であるから、今後は看護婦や醫者が、之を必要と認むる人々には教へて遣る必要があると思ふ。然し日本では今道德上殊に宗教の立場から此の產兒制限を否なりと思ふ人が尠くない、又世界全體から見てもさうだらう、然し殊に日本ては產兒を制限する事は、神の聖旨でないと信じて居る人々が多い樣である。舊約聖書中にもアダムとイブに向つて神が「生めよ蕃殖よ」と云つたと書いてあるし。又新約聖書中のキリストの言葉の內にも「汝等何を喰ひ何を着んとて思ひ煩らふ勿れ」とある爲に、這麼事が思想の根抵となつて神は必ず人間に必要な食物は下さるのだから、人口を制限するなんと云ふ議論は、根本から誤つて居ると云ふのが、宗教家の意見である。

□新マルクス主義は基教と一致す

然し基督教は今から約二千年前に起つた宗教で、當時は人口が尠なかつたから、殖えた方が宜い位ゐであつた。又喰つて生命を繫ぐ位ゐの事は下等動物でも遣つて居るのだから人間に出來ない理はないと云ふ事を考へられたが、吾々は人口を繁殖せしむる事が必ずしも神の聖旨ではないと思ふ。何んとなれば下等動物ほど多くの子供を產むのである、蠶の如きは一つの親から何百と子供が產れる。鮭や鱒の如きは一腹に幾萬と子を產むのであるが、猿や犬や猫の如く段々高等な動物になればなる程ど子供を少なく生む樣になつて居る。

今日人間の母親は元と六ツの乳房を持つて居た痕跡があるそこで古代未開の人類は六人位ゐは小供を生んだとも思はれる、今でも二た子や三つ子は勿論、何時かは四つ子を產んだ人がある事を新聞で見たが、這麼事から考へると、古代の人類が六人位ゐ生んだ事は確かにあつたと思はれる、然し進化した今日の人間に六つ子を產む人は殆んどない。

要するに動物は其進化と共に多產から少產に進んで居る事は明かな事實である。自然界の現象から觀察すると粗惡なものを多く生むより質の良いものを少く生む事が聖旨であると解釋する事が出來る、そこで舊約聖書中の「生めよ蕃殖よ」と云ふ事は間違ひと思ふ。又聖書の一言一句に拘泥せず、キリスト教大體の精神から觀察すると、誰でも人々は幸福を願ふのが人情自然の要求である。それで新マルサス主義を基督教の精神に反對して居ると云ふのは大なる誤解で寧ろ之は基督教の精神と徹底的に一致すると云ふも敢て過言でない事を確信して居る。

□產兒の權利と兩親の義務

尙ほ今一層詳細に是れを論ずると、第一は生れて來る子供に對する問題である、卽ち新マルサス主義は子供が生れて來る時は兩親が御蔭で自分たちも仕合せだ幸福だと思ふ時は子供も仕合せだが、若し兩親から復た生れて來たかと荷厄介に思はれる時に生れて來たのは實に不幸である。それで子供は兩親に歡迎される時丈け生れて來る權利がある。從て基督教の精神から論ずると子供が欲しいと思ふ時丈け生む事が必要である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

第二には母親の方から考へて見ると、兩親は其の產後の健康上から、少くとも三年間位ゐの間隔を置いて子供を生む必要がある、年子を生んだり或は二年おきなんかに生む樣では出產の爲に害つた母體の健康を恢復する餘猶がないから、次から次にと、後とから後から生れる子供ほど弱くなつて來る。それで新マルサス主義は產兒を制限するのみでなく、出產と出產の間に少なくとも三年位いの間隔を置く主義だから實に健實な議論である。

尙ほ資產のない人に子供が遠慮なくドシ／＼生れて來るならば、兩親は爲に益々生活難に陥り、養育も出來ず敎有も出來ず、一家は擧つて此の多產の爲に物質的にも困難となり、同時に精神生活にも悲慘な羽目に落ち込んで行く理けてある。

又今一つ考へなければならない事は、後世に質の良い人を殘す事、卽ち吾人が後の社會に對して盡す可き事は、靈肉共に最も完全な子供を殘して行く事である。そこで少數の子供を生んで其れに完全な敎育を施して行く事は、社會の爲め大に悅ふ可き事てある。

□人口過剰は國際平和を破る

今一步進んで考へると純粋な人口問題になるが、從來の政治家などは、佛蘭西の如く人口の減退して居る國は既に衰微して居るのだ、獨乙や日本の如く人口の繁殖して居る國は益々勃興して居るのだと思つて居た。然し世界的永遠の平和を實現するには人口過剰は大に不利益である。第一之は國際上の衝突を起すべき主なる原因となる。獨乙は人口過剰の爲め世界に覇權を掌握せんと企てゝ其の全世界に大損害を蒙らしめ、遂に世界の平和を破壞したやうな有樣である。

今後の國家は自分の國の國民は、自分の國だけに留めて置いて、養ひ得る樣にしなければ、國際間の平和を維持する事は出來ないのである。古代に於ては多過ぎる人口は之を外國に出す事も出來たが、今日では各國とも劃然たる蠅張りがあるから、全然不可能であつて、若し强いて斷行しやうとすれば、直に激烈な衝突を起すに極つて居る。一家にしても、自分の内は子供が多過ぎるから、子供の少ないあの親類にでも遣れば宜いなんと思ふ樣な人があるならば、是れは非常な不道德な考へであつて、國際間に於ても亦然りて、外國に出す事を當にして限りない自國民の繁殖を放任する事は矢張り不道德である。そして國際平和なる事は基督敎根本の大精神であるから、新マルサス主義は大に基督敎の精神に適應して居る。

茲に於て第一は產兒に對して、第二には兩親に對して、第三には國家社會に向つて、第四には世界全體の平和の爲に、新マルサス主義は當然必要であるのに、怎うして基督敎の精神に悖ると云へるてあらうか。

安部先生の新マルサス主義鼓吹は有名なものてあるが、先般歸朝の途次布哇に於ても此の講演なせられ一時同島は新マルサス主義に關する談論のみ行はれる程てあつたといふ。そして更に歸國の船中に於ても船客が懇請せられて之を試み、方法までも敎へられたとの事てある。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

日本の國民性批判

廓清會理事
早稻田大學教授　内ケ崎作三郎

□日本民族の由來と地理的關係

廓清會の主意は公娼廢止のみならず、家庭の純潔より社會國家國際等の文化問題に迄及んで居る。日本の國民性を批判すると云ふことは大きな問題である。最近に或る雜誌が日本國民性に關する論文を集めたものを掲載してあるので、一冊買ふたがまだ讀まぬ。又明治文化を論じた雜誌もある。今此日本の國民性を僅々一時間で論ずることは却々六つかしいことであるが、出來るだけ日本の文化的方面殊に廓清會に關係ある點の批判を試みやう。

私は昨年八月から米國、歐洲諸國及朝鮮滿洲支那を巡遊し本年七月歸つたのである。前回洋行の際は支那方面を廻らなかつたが、今回此支那の大國を巡つて大陸的國民に接したと同時に、我國民の島國的根性を沁々と感じたのである。古昔日本の島は無人島であつたが、北方からアイヌが入り込み、南方は滿洲及朝鮮より來りて第一に山陰道へ移住し、尚ほ南清、馬來半島等の諸方面より九州に移轉し來つたのである。殊に日本民族を御統一になつた皇祖皇宗は、寬大なる御精神を以て是等の諸人種を御包容になり、雜婚も行はるゝ裡に一種の同化力を有して居つた。斯くして日本民族には多種多樣の血が混つて居る。

先づ日本の地勢を見るに日本は人口最も稠密で且つ山國であるが、英國は狹いけれとも山がないので、東南は歐洲諸國の北岸に連なつて居るのである。日本は海岸から山になつて居る所が相當にある。彼の四國の如きは海岸が皆高き斷崖をなしてゐるのであるから、別段海防の施設をする必要がない又鐵道を敷設せんとすれば多くの墜道を造らねばならぬのであるから、鐵道其の他の交通機關…比較的發達せぬのである。それ故に四國へ旅行するには、德島から鐵道に乘り、それから馬車に乘ると云ふことになるのである。又宮城縣の本吉郡から靑森縣の海岸に掛けても山である。又我國の人口增殖の割合は非常の勢であつて、何うしても海外に發展せねばならぬのであるが、その海外が八方塞りである。併し北方は西伯利露西亞に、南方は南洋濠洲ニユージーランド方面に、發展すべき地位にあるのである。

□戰爭の慘禍と華府會議の目的

今回の戰爭は實に非常の悲慘なものであつて、ゼー、アー

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ルナット、ペードロ卽ち償はれない狀態にあるので、勝つた方も負けた方も損である。米國に於ける千八百七十年より千九百十六年迄四十七年の間に消費したる軍事費は、百九十三億三千四百萬圓になつてゐる。然るに今回の戰爭三年間の費用の方が、却つて多く掛つて居るとのことである。そして米國民各自の負擔すべき税金額が實に莫大のものである。それ等の理由よりして、ハーヂング氏が軍備縮少の會議を開かねばならぬことゝなつた。實際日本苛めのためではなく、全く自分を守るためである。又米國には國際聯盟に贊成の者が少なくない。第一に民主黨が贊成であり共和黨も不贊成と云ふ譯てないけれども、民主黨に對する政略上反對の地位に立つたのである。そして國際聯盟規約以外の重要なる計畫のために、華府會議を開催し之が召集をなしたのである。今度誰れが行くか、先刻德川家達公が正使になつて行くと云ふ新聞を見たが、公は人氣のある人で至極適任と思ふから、私は安心したのである。私は德川公には御目に懸らぬが、新聞雜誌其の他の評判で知つて居るので、誠に圓滿な人である。十六代將軍たる公が米國へ行くならば、彼の國では非常の人氣を博することてあらう。日本が戰爭をして發展することは絶對に不可能であり、非常の損である。それよりも平和的文化的經濟的方法に由るを得策とする。今回如何なる態度を以て米國に對すべきか愼重なる考慮を要するのである。我政府の當局者が太平洋會議に對して多少立ち遲れの形跡があつたのは遺憾である。

慶長十八年卽ち千六百十年の太平洋を横斷したのは、西班牙人なるフェルヂナント・マゼーランである。彼れが太平洋を發見して數ケ月を費し横斷したる上、平和洋の名を付したのが後世太平洋の名に變化したのである。同氏は其の後十年を經て百二十噸の蒸汽船に乘り、伊豆の伊東に參つたのである。德川家康は其の一行中のウヰリアム・アダムスが暫時滯在するを好機として、船を造ることを命じた。アダムスは吾は船夫てあつて船大工てないと言ふて、固辭したけれども家康は之を聞かないで船を造らせたのである。そして其の新造船の装置してある川に堰を止めて、湖水の如くなしたる上、一時に堰を切つて其の船を海へ突き出し浮ばせたのである。それから之を江戸へ回漕し隅田川に碇泊せしめた。又墨西哥の船が紀州灘附近に難船したので、其の最寄への人々が出掛けて乘込人を助けたのである。又東京丸の内八重洲町の町名はヤンヨウスと申す外國人の名より取りたるものであり、京橋安人町の町名はアダムスの名より取つたものである。コロンブスが米國發見後百二十年目に、日本より態々船を艤装して墨西哥迄行つて來たのである。若しも其の後往復の船を續けて居つたならば、今日の如き太平洋會議の必要はない譯てある。併し或る意味に於て、鎖國のために消極的に國を安全にし得たとも云ひ得るのである。又千八百十九年卽ち今より百二年前サバンドが蒸汽船に乘り太西洋を發して喜望峯に至り、それより印度洋を廻はつて來たのである。元來此印度洋には時々大風が起つて船を覆すことあるのみならず、支那海の海南島に海賊が居るので、大概の船は此處で食ひ留めることが出來るから、容易に西班牙や葡萄牙の者が來ることが出來ぬの

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

てある。然るに我徳川時代にはキリシタンバテレンを恐れて鎖國主義を執つたのであるが、若し開國主義を執つたならば充分太平洋の各方面に延びて居つたに違ひない。然るに徳川の文化は此鎖國主義に依つて消極的大成を遂げた。一體窓と云ふものは開かるべきものか閉ざさるべきものかと云はば、勿論雨や風の夜は閉づるも、平素は之を開いて置くことが本然的であると思ふ。それ故に私は此鎖國を非常に遺憾に思ふのである。

□日本の人口問題と將來の發展

實際日本の海運や海軍は徳川以前の昔に於て發達した。そして海賊も横行したのである。英國の如きも却々海賊の跋扈が劇しかつた。又日露戰爭の日本海々戰に東郷大將は、日本固有の戰術を遣つたのである。昔時大友家を始め三藩の者が八年間掛つて、非常の苦辛を嘗め羅馬に行つて來た。又土倉六右衛門は七年掛つて種々の困難に出遇ひ、同じく羅馬へ行つて來たのであるが、鎖國の爲めに遺憾乍ら充分國威を發揚することが出來なかつたのは、專ら徳川十五代の責任であつて今回十六代將軍が米國へお出になつて、鎖國より起れる弊害に對し尻拭をせらるゝといふ事は甚だ意味深いと思ふ。

又日本人の性質は低氣壓の感化を受けて居る。我輩が倫敦より購入し來りたる晴雨計は、本日晴天であるにも拘はらず針が雨の方へ向いて動かぬから、まだ／＼當分雨が來るであらう。又日本人は發作的であつて亂暴である。諺に地震、雷、火事、親爺と申して一種の低氣壓があるので、のんびりと育たぬから英國人の如く落ち着かぬ。神經衰弱やヒステリー患者の多いのは、雨が非常に多いと同樣である。そして平素消沈いて居るが、一旦緩急あれば義勇公に奉ずる非常道德を實現するのである。日清日露の兩戰役より今日の華府會議となる迄、此途行きを踏み來つたのである。又歐洲には始終戰爭が續いて居つたが、我國は二百數十年の間戰爭がないので、上流の者が遊惰に流れて文弱者となつて仕舞つたが、兎に角無益なる戰死と云ふことがないので人材が殘つて居つた、そして一旦緩急あれば義勇公に奉ずるを實現したのである。

大隈侯は足を一歩外國に運ばれぬが、ちやんと世界の大勢や趨勢を知つて立派の經綸を有して居らるゝのは實に偉い。又矢島揖子女史は八十九歲と十ヶ月であらるゝのに、昨年歐米より歸朝せられ尚ほ其の後滿洲地方を巡回せられた計りであるのに、今回又々世界平和の爲めに最後の奉仕と努力をする精神を以て、太平洋會議の應援に行かるゝとのことである。吾々は實に感謝せねばならぬ。又日本は今日迄西洋の文明を取り入れ之を消化し來つたのであるが、兎に角西洋の諸國は日本の恩人である。亞米利加の如きは殊に非常なる好意を有して居り、其の好意が日露戰爭時代迄繼續して居つたが其の後種々なる理由のために形勢一變したのである。併し今日以後は戰爭をすれば勝つても負けても損をする。それ故に戰爭をせないで發展の途を講ぜなければならぬ。又我國の人口は一方里四百何十人であるのに濠洲は僅かに二人に過ぎぬ西伯利も人口稀薄である。此人口問題は日本の大問題である。併し眞の至誠と博愛の心を以て進み行くならば、案外に

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

發展の途が圓滿に開け得ると信ずるのである。現に私は今回の外遊中至誠博愛の心と圓滿なる態度を以て、總ての人々に接した積りであるが、何處へ行つても尊敬と歡迎を受けたのである。要するに我國は經濟的精神的に發展し、又文化的に發展を遂げなければならぬ。

□日本人の劣等なる體格と優秀なる藝術

日本人は男女共體格頗る劣等である。然るに米國の白人、黑人及獨逸人の如き、何れも皆身體長大であり相當に肥滿して居つて、却々立派の體格である。之に反して日本人には馬來人種の血が混つて居るために、世界の國民中一番風采が揚らぬのである。又美人の事を云ふならば阿刺比亞に世界一等の美人が居るのである。それ故に青年諸君が結婚する時、體格の長大にして優秀なる他の亞細亞人と結婚する必要がある。そして人種改良の一助となすことを希望するのである。日本は精神的に發達して居る。殊に藝術は日本に最も優秀なる特色を顯はして居る。支那朝鮮は古き藝術の歷史を有して居るけれども更に振はぬのである。英米も餘りに優れて居らぬ。日本は實に世界に於ける唯一の藝術國である。それ故に書畫骨董は或る程度迄重んずべきである。

日本は雨量の多いために、世界中日本程水の豐富なる國はない。揚子江の水は滔々たる濁流であるが掘つても良水は出ないので沿岸の住民は皆その河水を汲んで溷濁を沈澱せしめて漸く飲用その他に使用するのである。又北戈壁の沙漠には有名なる紅塵が起るのである。私が本年四月十八日布哇に居つた時に所謂黃塵萬丈の光景を見たのである。之は水がないからである。又日本には至る所水が清いので自然と清潔を重んずるが、支那人は日本人程清潔を重んぜぬ。彼の西湖は文章軌範にもある通り支那第一の景であり、水が清く澄んで居るので陸放翁や白樂天が之を歌ふて居る。然るに實際行つて見ると案外汚い水である。從つて清水を用ひて充分に物を洗滌することが出來ない。之が性質となつて日本人程清潔を重んじない。又朝鮮には藝術が發達せぬ。深い井戸から水を汲み頭に載せて運ぶ白衣の朝鮮人には、深奧神祕なる藝術心がないのである。日本人は自ら藝術的であつて哲學的でない。日本人は天地自然と爭はず妥協するために理性が發達せず、唯感情に訴ふるのである。西洋人が日本の演劇を評して申すのに「世には泣くべきことが多い。金を遣つて迄泣きに行く必要がない」と是れは適評である。彼の大本教や天理教の如きも、重もに感情に訴ふることを努むるのであつて、日本には宗教よりも文學藝術が發達したのである。それ故に此儘で海外に發展するには六つかしい。何うしても感情でなく自主獨立で行かねばならぬ。日本人の感情は高潔であり奇麗である。神佛共日本人の感情を育てたが、それだけでは眞の發展は六つかしいのである。

□海外發展と婦人の自覺

海外に發展するには、第一に身體が丈夫で強いものであらねばならぬ。如何なる美人でも二三年の後肺病になる様の人

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ては海外に發展することが出來ぬのである。日本人は感情的であるから死ぬにもころつと參る。青年にも幾多の例がある又日本人は好んで神社を造り、自然を背景として、高潔なる感じを與ふるのである。それ故にお祭りは高潔でなければならぬ。先年例のわつしよ〳〵を支那に於て遣つて馬鹿にせられた事がある。由來祭典は基督敎でも回々敎でも、之を見るならば堂々たるものである。山東省の孔子の屋敷の分廟の祭典などは却々堂々たるものである。ユダヤ敎も山の敎でありへブライの宗敎にも御輿の事があるが、祭典は堂々たるものである。それ等に比べて日本のワッショ〳〵はあまりに幼稚である。日本の宗敎も合理的科學的に硏究するならば、大いに悟得する所がある。例へば神道の眞髓を硏究するならば、高潔の二字に歸するのである。是れは冷淡視する譯には行かぬ。然るに日本の男女の問題は低劣なる地點に定住して動かない。私は仙臺の北方四里半の村落に生れたのであるが、十二の年に仙臺の高等小學校へ行く時、私の祖父母が涙を流して訣れを惜んだのである。定住すると斯く短距離の所へ行くにも外國へでも行く樣の心持ちになるのである。又定住すると男が意張つて女を壓迫する傾向があるので、自然片手落ちとなるのである。歐米人は由來移住的國民であつて一夫一婦の制を重んじ夫婦相敬愛する訓練を受けて居る。印度はヒマラヤ山の爲めに文明を遮られて、日本と同じく男女道德が進まず男尊女卑の弊に陷つて居る。

廓清會の演説會などには、婦人の聽衆が半數以上でなければならぬ。婦人自ら立たねばならぬ。男の社會は男、女の社會は女が立つて處理せなければならぬ。歐米には女が不足であるから女の位置が高い。カリフォルニャ布哇、滿洲へ行くならば、女が不足であるため女が意張るのである。歐米には男女がダンス其の他の交際方法が備はつて居るが、日本の男子は藝者屋、遊廓、曖昧屋、待合等に行くのである。是れは日本でも西洋流に改善せねばならぬ。戀愛の如きも民衆化せねばならぬ。社會の根本問題は經濟問題にあることを忘れてはならぬ。詩人テニソンが「破れたる花の一片を理解するならば凡有問題を理解することが出來る」と申した如く、社會には幾多關聯した廣き〳〵硏究問題が多くある。私は他日硏究して再論するであらう。

終りに近頃流行の性の問題に付一言せん。性の問題を科學的に眞面目に硏究するは至極宜しいが、面白半分に輕薄なる心を以て之を宣傳するのは大いに警むべきである。男女問題は神祕的敬虔的である。聖人君子と同一になるのである。そして道德の根本、社會問題の根本である。諸君が子孫のために、又社會に貢献するために、眞面目に硏究せられんことを希望するのである。（廓清會講演大要文責記者にあり）

會告

廓清會本年度總會は本部の都合により之を延期し明春三月の交開會の豫定につき、右御諒承相成度

公娼廢止建議案の可決

□內務省社會事業大會に於て滿場一致□

江南生

去月四日大阪市に於て開かれたる內務省主催全國社會事業家大會に於て、我が廓淸會は別項の如き建議案（伊藤理事執筆）を提げ之に臨み、益富政助氏は熱心に之が說明をなし佛教社會事業研究會の新井萬喜太氏は、直に贊成演說を試み、林歌子山室軍平の二氏續いて贊成演說をなしたが、益富氏の健鬪と共に、藤井氏の熱烈なる質問に對する應答及び贊成演說は、大多數の僧侶を動かし、遂に別項の二案とも滿場一致可決することゝなつたのは、時勢の進步とは云へ實に愉快千萬である。

公娼制度廢止を其筋に建議すること

理　由

公娼制度は野蠻の遺風にして大正の昭代に一日も存續せしむべきものに非ず、今次の三點より大要を說明せん。

第一　人道上より廢止すべし

公娼制度は明かに人身賣買にして、前借金と稱する身代金によりて、其一身を樓主へ賣渡すものなり、而して一度娼妓とならんか全く其自由は拘主の手に奪はれ、名は貸座敷に獨立の稼業を營むが如くなれども、實は全く奴隷として飼はれ醜業を强制せらるゝ制度にして、亞米利加の奴隷以上、醜惡なる奴隷なるのみならず、最後の保全たる自由廢業すら、事實は樓主の債權を保護する警察官によりて目的を達せざるを常とする、最も慘忍なる制度なり。

第二　實質上より廢止すべし

賣淫の行爲は、反道德的、反社會的行爲たるは申す迄もなしと雖も、更に民法九十條、刑法第百七十四條に明かに背反

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

する行爲にして、樓主は屢々刑法第百七十六條、百七十七條の幇助罪を成立せしむる行爲をなすものなるが故に、國家は之を正業とし、税金を課して保護を加へ、公許すべき種類のものに非ず。

第三　社會政策上より廢止すべし

公娼制度は人道に反し正義に悖る事は何人も承認する處なるに、尚且つ之を支持するは一に必要なる害惡として、社會政策上之を認むるを便宜とするが故なり、今その誤りを正さんに。

(1) **風紀取締上廢止すべし**

存娼論者は、賣淫婦が良家の間に散在すれば、附近の風俗を紊す。傳染病に對して避病院を設くるが如く風紀上の避病院を設けて、賣淫を隔離すべし。となす。然れども此の議論當然の推論は、公娼制度を設けたる事によりて私娼を絶滅し若くば大なる抑壓制限をなし居らざる可からず、公娼を設けて尚私娼發生したらんには、そは畢竟隔離に非ずして公娼の分離、增設又は新設に非ずや。而も各國の歷史は明かに公娼を有するの地却つて私娼の跋扈著しきを見る。況んや公娼それ自身すら隔離されず、春は櫻、夏は燈籠、秋は菊、冬は仁輪加を見せ、或は酉の市などいふものを行つて滿都の老弱男女を群集せしめ、風紀上の避病院は不斷の大園遊會を開く。斯の如くにして何の隔離か之れあらん。

(2) **社會衛生上より廢止すべし**

公娼制度は今日に於ては恐らくば社會衛生上より廢止し

得ざるは其實情ならん。然れども斯の如きは全く醫學上の智識を欠く結果にして、輓近の花柳病學者間に於ては、檢梅制度は無效なりとの定說あり、試みにブラシュコ、ブロッホ、松浦有志太郎諸家の説を聞け、今昔諸説を摘記すれば、

一、花柳病檢查は顯微鏡を用ひて數時間を要すべきものとす、然るに實際の狀況は二三分間肉眼にて檢查をなすのみなれば、全く信據するに足らず。

二、假りに效力ありとするも男子の檢梅をなさずして婦人にのみ僅に一週一回位の檢查をなすものなれば、其安全は第一人に限り、從つて檢查濟の保證によりて却つて病毒を傳播せしむ。

三、驅黴の上より見て、數ケ月以上數年間隔離治療を要すべき花柳病を、事實は僅に一ケ月內外の入院にて再び醜業に從事せしむる故、所謂『洗滌せられたり然れども治癒せるに非ず。』

四、病毒の豫防は公娼制度によりて得ることなく、娼婦に接せざるより外なし。

試みに陸軍省の壯丁檢查によりて、公娼存置の場所と、壯丁の有毒關係を調查するに、決して公娼によりて病毒防止の事實を發見せざるを知るべし。或は又公娼と私娼との有毒比例を云爲するものあるも、此統計の信ずべからざるは前記第一項の學說によつて明かなれども、更に內務省報告公娼有毒比例と、陸軍省報告の壯丁有毒比例とを對比するに、醜業を以て生活する公娼と滿二十歳の青年の有毒數とが、東京大阪

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

にありては殆んど同一なるは以て、公娼有毒報告の信ずべからざるを明證するものといふべし。

然れども百歩を讓つて此の醫學上の根據を失へる檢梅制度が尚必要なりとせらるゝならば、公娼制度の廢止と衞生的監視の廢止とは別個の問題なるが故に、宜しく之を私娼として檢梅すべし。各地の藝妓の檢梅の如く、或は群馬縣の酌婦に於けるが如くすべし。現に群馬縣は公娼なくして最も花柳病少き縣中の一なり。

最後に一言すべきは、公娼を廢止せば私娼增加せんといふ杞憂論者ある事なり、此論は公娼存置によりて私娼抑壓の事實なき以上答辯の必要なき議論なり、賭博はあらゆる犯罪の二割五分を占むる人生に斷ち難き弊風なり。然るに國家は何故に賭博公許場を設けて家庭の賭博を禁ぜんとせざるや。之れ公娼問題と矛盾する國家の施設に非ざるか。

賣淫公許場の存置は、社會の風教を紊り淫風宣揚の泉源となつて、私娼を發生せしめ、病毒を傳播せしむる原因となる。仰ぎ願くば速に之を廢止し、道德の向ふ處を明かにし、貞操の金錢を以て蹂躙すべからざるを知らしめ、無告の奴隸を解放せられ、國際聯盟の婦女小兒賣買禁止協約に悖るが如き狀態のなからんことを。

大正十年十一月

藝妓をして事實上の私娼たらしめざる様取締られんことを其筋に建議すること

今日の藝妓なるものは明かに私娼なり、その對手の少數なると多數なるとの差別あるだけにて、所謂一流たると下流たるとを問はず、一切の藝妓は殆んど賣淫婦に非ざるなきの狀態にあり。而もその增殖の速かなる、大正三年末に於て四萬四千人なりしもの、最近は既に六萬人を越ゆるの狀勢なり。然るに之に對する社會の態度は、賣淫婦として恥づべき婦人として待遇することなく、貧困なる婦人小兒などは寧ろ之を羨望し、當局も亦彼等の賣淫を檢擧せず、社會は貴婦人の如き待遇を與へつゝあり、從つて彼等の流す害毒は風敎上實に戰慄すべき有樣なり。

之を此の勢ひに放任して、青年團に剛健質實の美風を鼓吹し、都鄙に勤儉貯蓄の良俗を宣傳し、乃至花柳病の蔓延を防止せんとするは、泉源に遡らずして徒らに下流を淸めんとするものなり。藝妓をして事實上の藝人たらしむるか、然らざれば全く之を私娼として待遇し取締られんことを望む。

大正十年十一月

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

「燁子劇」を見て

文學博士　藤井健治郎

伊藤燁子事件は近來の社會上の大事件として、世間に囃し立てられるやうになつて來たが、之を散文的に觀れば、甲某の女が乙某といふ亭主を擯棄てゝ其情人たる丙某といふ男の許へ逃げ込んだといふだけて、世間にざらにある事て、囃し立てる程珍らしいことても何てもない。處が、今度の燁子事件に於ては其登場の人物が金はウンと持つてゐる、教養といふ程の教養を有たない鑛山主の夫、それに比べては多少理智のある、詩才を惠まれてゐる而かも相當虚榮心の強い貴族出の妻、因襲打破、偶像破壞を自己の天職と信じて感激性に燃えてゐる青年の情人、呑めば大風呂敷を擴げて大平樂を並べる〃など、劇としての人物の配合其妙を極めてゐる。それに開幕の臺詞（絶縁狀）も、その世間から呑兵衛といはれてゐる人へ落ちていつたといふ〃仕草劇の興味を惹起すやうに出來てゐる。さなくとも世人はかうした事件は、出來るだけ之を劇化して觀やうとするものてあるのに、其登場の人物から臺詞、仕草まで、そのまゝ天才の傑作と觀られる程の劇詩になつてゐるし、それにその劇は幕を開いたばかりて、まだ其山が見えてゐないから、世間は猶更此先どう發展して行くだらうと熱烈な期待を持つやうになる。つまり世間は觀劇讀詩の心理で動かされたが爲めに、散文的に觀れば極めて平凡な事件も今度のやうに意外に擴大せれた事件になつたものと思ふ。そこで、私が今此事について鄙見を述べるのも、一つの劇としてゞあつて現實のものとしてゞない。從つて燁子とか伊藤とか名は同一てあつても實は現實と假像との相違があるのてある。又現在私の力てなし得る事はそれだけてある。なぜなれば私は現實の燁子、伊藤其他については毫も知る所がないからてある。

（一）

第一に燁子の絶縁狀と云ふものを夫に與へてその家を去つたと云ふ事に就て、世間の觀客は種々に批判して居るが、それについては女の方から離縁狀を出して勝手に夫の家を去ると云ふことは我が國俗にはないことて、全く以て怪しからぬ事柄てあるといふのが、衆口の一致してゐる處のやうに見える。いかにもそれは類の無いことてあらう。しかし、今日の民法に於ては離婚の權利は男女の雙方に平等に與へられてある。夫に離婚要求の權利がありとすれば、當然妻にも亦同樣の權利があるやうになつてゐる。是は理の當然であつて、何にも不都合な事ではない。故に前例のない離婚だといふ理由で非難するは妥當を缺いて居る。但あゝして夫と共に旅行に出て、其先きから何氣なく、夫の歸宅を見送り、其の後に何らの豫告無しに殆ど晴天の霹靂の如くに絶縁狀を突きつけて離縁の要求をしたといふ事、若しくは離縁の宣告を與へたといふ事は穩當の沙汰か如何かといふ事は別問題であるが、私は若し當時の事情として、燁子に他に執るべきの方策が全くなかつたと云ふならば、是亦已むを得ない事であるが、又今少し穩當な處置の仕方もあつたとすれば、あゝした手續は恕すことが出來ない。併し劇の臺本は此事を判斷する程に詳しく記載されてゐない

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

（二）

さて婢子のやつた行動についての形式論は以上の様てあるとして更に其内容、即ち事の此に至らざるを得なかつた經緯に立ち入つて考へて見るならば、夫婦の年齡に非常の相違があるし、夫に性行、趣味、思想は殆ど異つてゐて極端にいへば一點も一致した所がないといへる位てあるし、それに極ふつくりと纏まつた緣談てなく、一方ては金が欲しい他方ては門地を望むといふやうな不純な動機も混つて出來上つた結婚故に、男の方にも面白くない處があり、女の方にも不滿の點があつて此十箇年間は雙方嘘の吐き競をしてゐた、併し年百年中嘘ばかりも吐いて居られないから偶には嘘から出た眞の眞劍てお互に僞らない愛を起しもし、又懷かれても見やうとしたてもあらう。昔の大名は刀て女の愛を脅迫することが出來るものと考へ今の大名は金て戀の勝利者となることが出來るものと思つてゐる。富岡の銅御殿も湯の都の玉樓も皆褒似の一笑を贏たんが爲の弱い男の道樂から生れだしたものてある。しかし腹の蟲の好かない男からやい／＼言はれる程却て厭になり、反抗氣分が亢進してくる況んや男を甘く見てゐる才走つた高慢な女てあつて見れば平素の高慢が愈高慢になり男を馬鹿にしたくなつてくる。さうして出來るだけの馬鹿を盡くさせて見たくなる。かく遊戲氣分の忘我の狀態に、ある間は苦しみもなく、悶もなく過していくが、一旦自分て自分の生活を見詰めた時には何といつても其淋しさ其空しさを感ぜずにはゐられまい。其時落した淚は本當の淚で、其時漏した詩は本當の詩てある。その『踏繪』などに載せられてある歌は皆が皆まて文字の弄びでもなからうし、皆が皆まて本當の詩てもあるまい。

それに男の家庭は通例あゝした階級にあり勝ちな不仕鱈な家庭て妻と名のつくべき程のものが彼處にも此處にもあり、あまつさへ同棲までもしなければならぬといふ有樣てある。こんな事は無論宜しからざることとて、婢子が此事に對して大なる侮辱を感じたやうにいつてるのに無理はない。しかしそれが全くの眞音かどうか疑はしくも思はれる。といふのは、それほど人としての女の尊貴權威を感じてゐるなら、どうして彼の船子といふ婦人を金て買つて而も自ら因果を含めて人身御供に上げるやうなことをしたのてあらう。あんな事の出來る人に人格者としての人間の尊貴だの權威だのが分る筈がないからてある。

夫の不身持に對する日本女の型は「酒屋」のお園か「炬燵」のおさんてある。お園はしばらく別としておさんについていへば妻としての治兵衛への貞節女としての小春への同情、まるで正反對な二つの感情を一身に體驗して分裂しやうとして統一し、統一しやうとして分裂する所深刻な人間味を染め出してゐる處が門左の劇才てある。蓄妾の陋風は必ず改めねばならぬ。それを改めさすのに最も有力な效果のあるものは婦人矯風會の働きてもない。生活改善會の宣傳てもない。妻その人の純眞なる敬愛の力てある。だから夫の蓄妾を自分の魂に對する侮辱と感ずる人は極力その矯正に努めねばならぬ、しかしそは只反抗的のみてあつてはならぬ『型』は舊いがその精神はお園流、おさん式ていかねばならぬ。如何にも夫を輕く見たやうな茶化したやうなあ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

の態度と手續とは斷じて溫良貞淑なる婦人の取る所のものでない。

（三）

から觀ると、渠女の絕緣狀をつきつけるに至つた內容については相當の理由もあるものゝやうに見ゆる。しかし乍らそれは一面の觀察であつて、臺本の記載はそれに止まらない。渠女は自分を妻らしい妻として觀ることが出來ず、又夫を夫として觀ることもしなかつたらしく見える。自分は由緒正しい貴族に生れたお姬樣だ、お前は一鑛夫上りの金の番人だ、仰げ拜めといつたやうな心持があるので隨分無理も云つてゐる、我儘も出したり夫を三人稱でいはねばならぬ時でも自分の夫といふ意味を表はす言葉を用ひなかつたり、又自分を一人稱でいふ時にも人の妻として當然用ひなければならぬ言葉をも遣はなかつたらしいのである。こんな仕向方をして而して夫の愛を求めやうといふのは他人の顏に唾を吐きかけておいて、さうしてその御褒美を求めるやうなものである。蟲のよい事夥しい。こんな風に仕向けられて平氣で愛を出し得る男があるならば、それはむしろ奇蹟である。況んや女の一顰一笑の如きは金の力でどうでもなるものと簡單に心得てゐる人だ、さうした場合になんて眞の愛なるものを出すことが出來よう。面かも夫に愛がないとて恨むのは、それは全く筋違であつて、種も下さずにおいてさうして收穫が取れぬと零すのも同じ事である。

世間では此の空洞な淋しかつた十年の生活を今度の仕草の動機だといつてゐるやうであるが、それは動機といふものでない、唯動機を形成するやうに至つた途中の道行であつたに過ぎない。然らばその動機は何であるかなれば、それは情人の愛に生きやう救はれやうといふのがそれである。絕緣狀の『幸にして』から以下の臺詞がその動機といふものである。自分は幸ひにして十年間の苦悶の最後の一兩年に愛する一人の靑年が與へられた。卽今その愛に生き救はれやうと思ふといふ程の意味をいつてゐる。それが假りにも十年といふ月日の間、夫として——いやさ燁子は自分は夫だなどゝ思つてはゐなかつたといふかも知れぬが、兎に角臺本に表はれた處では歷然として夫になつてゐる——その夫として侍いてゐた男に對しての言葉である。而も之を新聞紙にまで出して世間の前へ大びらに出した臺詞である。何といふ大膽な羞恥を辨へぬ無鐵砲な言葉であり仕草であらう。通じて觀ると燁子といふ人物は餘程「ヘッダ・ガブラー」に近い處のあるやうな人物にも見えるが、そのヘッダはひどく因襲を呪つてゐるが、而も因襲を恐れてゐる臆病の爲めか、是程大膽な露骨な臺詞も吐かず、仕草もせぬ、隨分沒義道な臺詞である。學問上の嚴格な意味で動機といへば今度の仕草の動機は是れである。かうした動機では到底此劇の世間の觀客の同情を博すべき理由がない。果然作者と登場俳優とは此臺詞と仕草とで大向をやんやと唸らせやうと狙つたかも知れぬが、一向に拍手も聽えず喝采も聽かぬ。夫ばかりでない却て可なり酷しい罵聲と冷い嘲笑とが盛に聽える。流石に世間は眼が高い、而して深い。

今更說法めいた道德の講釋でもないが、しかし世間には戀愛が人生のすべてゞ若し一切價値の位付けをしたとするならば、それが最高の位置を占むべきものであるかのやうに思つてゐる人もある世の中であるから一說いつて見たいがお色と食とは人の性ぢやと二千

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

三四百年前に告子が喝破してゐるが、其色は或る意味でいへば社會組織の基本要素である。だから同じく人の性でありながら食の方は個人の自由に委して日に三度に食はねばならぬの、一回に三椀は食はねばならぬと社會又は國家が干渉がましい事なせないのに反して色の方はやれ結婚はどうの離婚はかうのと規律を立て、個人に强制するやうにしてゐる。卽ち社會又は國家は食は自由に放任しておくが色には枷をかけて不羈放縦のないやうにしてゐる。是は精粗深淺の差はあるが苟くも團體生活のある處如何なる野蠻未開の處にもないといふことはなく、又文明進化した處にも缺けてゐるといふ處がない。社會組織の基本要素なるが故に仕方がない、是に於て人倫といふものも男の道も女の道も立つてくるのである。かういふ譯合であるから色と戀愛とが同一なものと觀て、戀愛は廣く社會的の機能を有つてゐるもので、必ず一定の規律に據つてゐなければならぬものである。規律に嵌めるといふことはそれを削り取つたり甚だしきは殺してしまつたりするといふ意味ではない、戀愛それ自らで醇化するといふことであり理想化することであり、理性化するといふことである。かうした道理であるからあの燁子の動機といふものは、全く人の道を蹂躪つたものである、女の道を裏切つたものである。

（四）

次に、夫の歸宅を中央停車場に見送るすぐ自動車で思ひもかけぬ處へ身を匿す、而してその絶緣狀なるものが、夫伊藤氏の手に渡らぬ先に、新聞紙を通じて世間に公表される。その稍活動めいた處はあるが舞臺效果を考へた手の鮮かさは中々味のある傑作である。此の邊が此の劇の中間の小山であらう。

斯かる一家或は夫婦の秘事に關することは一家又は夫婦の間に秘めておくのが普通である。若しそれが世間に漏れたとせば、當事者以外からは出ない筈だのに其れが世間に公表されたと云ふのは、その絶緣狀なるものを發送した側から出たものであることは明かである。そして燁子の方では豫定の筋書を豫定の通りにやつてのけたものであらう。しかし是は作劇的手腕があまり味いので、世間では「指鬘外道」の作者の腕では、かうはうまくは書けまい、それに十年も世間の手前を恐れてゐた臆病者には出來ぬ筈である。是は定めし彼の因襲打破偶像破壞を念としてゐる情人靑年の添削であらうと推測してゐるものもある。さうかも知れぬ。さうでもなかつたなら燁子といふものがあまりに『惡』に落ちてしまふことになるのである。また、彼の絶緣狀を公にしたと云ふ事は社會的に如何なることを示せるかと云ふに、社會の綱紀の緩んだことを意味するものである。思ひ切つてやりさへすれば如何な事でもやれない事はない。素々社會の綱紀なるものはたゞ因襲に過ぎず、偶像に外ならぬ。こんなものに拘はられてゐるのが馬鹿臭い、その綱紀とやらに縛られて甘んじてゐるのはこれを恐れてゐるからだ、恐れさへしなければそんなものは何でもない、思ひ切つてやりさへすれば如何にでもなる。凡そ個人の力に對しては、刄向ふべき何ものもない。思ひ切つて斷行すれば、世間の因襲奴隷の者共の眼を覺して彼等をして自分の意志に屈服せしめ自分の意志を貫徹することが出來るものであるといふ考へがあの筋書の中にほの見ゆるやうて如何にも個人の力を擴大し、社會の綱紀を見縊つた仕打のやうに思はれる。社會の綱紀は死物ぢやない。變化もすれば成長もする。だから綱紀といつてゐるもの、中にも、既に枯葉枯枝になつてしまつてゐるものも、時にはなくもない。だからといつて綱紀のすべてが枯死してゐるといふものでもない、綱紀は永久に生きてゐる。綱紀は金剛の綱である。出來合ひの感性の戀愛や、安直な有合せの自覺て

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

断てるものでも、切れるものでもない。而もそれが出來るものと思つたのは、全く『自己擴大』のヴアーンである。

世間では又此劇を只金と爵位とのみあつて愛のない結婚が當然その落付くべき處へ落ちていつた社會劇と觀てゐる　全く其通であつて金を餌に爵位を釣らうとした男、門地を看板に我儘を通さうとした女、各々その行くべき道を行つたので此の結末にとんと不思議はない。而も女は自分は心に染まぬ縁談であつたが、弱小な爲めについ負けてしまつて結婚といふことになつた。而して十年間苦しみに苦しんだ揚句、漸く自分の魂に眼が覺めて自分の今後に辿るべき道を見出したといつてゐる。うまい言草であるが、果して些小か強大か、渠女はクリスマスの用意に沒頭してゐたノラではなかつた、むしろ家出した後のノラであつたかも知れぬ。渠女はその前に既に人妻としての經驗もあり、親としての體驗もあつた人で結婚に就ては決して『人形』ではない『人形』になり得る程の人でなかつた。而も終に結婚するに至つたのには、渠女の腹に何かウンといつた事があつたに相違ない、金か虛榮か歡樂か、何しろ劇は今幕開けたばかりで先きもいつた通り人物の配合とり〳〵に妙を極めてゐる。此劇の先きはどう發展してゆくものやら私も世間の觀客と一緒にそのクライックス上りつめていくのを強烈な觀劇氣分を唆られつつ待つてゐる。（完）

（記者附記、白蓮問題は本誌としては寧ろ避ける方が賢明であると思つて書かない事にしてゐた。然るに各雜誌は爭ふて特筆大書し、一大社會問題婦人問題として論じてゐる。それが大部分世を誤る樣な評論なので、最も穩見なる博士の本論を大朝より轉載する）

風教上より見たる公私娼（三）

木藤冷劍

前號に於て全國各府縣別壯丁檢查の成績表を揭げて、昨年度に於て、最も花柳病患者の數多き長崎縣に就て、其地にある賣笑婦の員數及是を收容する樓數、飲食店及是に費消さるゝ金員等の類別を揭げたるが、本號に於ては之と相關聯して同地に於ける婚姻、離婚、死產、出產率等に就て之を調查したるものを掲げ、男女道德研究同人と共に此問題を研究して見たいと思ふ。

茲に前以てお斷り申して置き度いのは賣笑婦の調査にしても婚姻、離婚の調査にしても檢黴情態調査にしても、壯丁檢查の情態にしても何れも各方面に亘れると管轄地方、郡衙等

の情態によりては精密に判明するものあり、不詳の所もありして甲の郡にして調査しあるも乙の郡には不明のもの等あり、斯かる調査によりては非常なる煩雜と苦心の伴ふ者にて短日月の間に各方面に亘りて調査發表することは容易の事で、ない。其かはり材料は何れも最新の調査によりたるもの故之を御含み置きを願ふのである。

平均して調査の結果予の愚考する所によれば、花柳病患者は壯丁檢査に於て比較的海岸に面した地方に多く、トラホームは之と反對に山間に避地の方面に多いやうな風に見える。予の知人にして徵兵檢査に從事せし或陸軍武官の某氏に就て尋ねしも、矢張り同氏も同意見を有ち居られた。

夫と同時に公娼の多き地に花柳病の多く公娼の無き地方に少き事は申までもなし、今後發表せんとする方面ハ地方に於ても比較的吾等同人が多年主張しつつある主義に合致する

◇結婚、離婚、出産、死産率◇

郡市	婚姻	養子縁組	離縁	出生	私生児認知	死産	婚姻ニ對スル離婚
佐世保市	八四	二七五	五〇	二五五一	一〇三	一九〇	九三
長崎市	一九八一	六二	一五八	五二一九	六一九	三六〇	二一五
北松浦郡	五三六	不詳	不詳	一三六三	不詳	八三	四六
壱岐郡	五五三	二〇八	六	一四〇二	六〇	一二三	四七
南松浦郡	一六〇一	不詳	不詳	四四一三	三七三	一二八	一六三
北高來郡	一三三一	一五七	不詳	不詳	二九四三	不詳	八一
南高來郡	男 一三四〇 女 一三三一	一一五	不詳	不詳	男 三七六六 女 三七二	不詳	男 一四五 女 一三六

點が多い事と思ふのである。

長崎縣の結婚離婚の情態に就ては次表の如くなれ共、二三不備の點があつて本號の締切までには全部の調査を發表する事の出來なかつた事を遺憾に思ふのである。

上記の表は同地の姻籍關係を知る事が出來やうと思ふ。

以上は何れも大正九年中の取扱統計を各郡別に調査せしものであるが其全班は判らずとも此情態は大抵大同小異であらうと思ふ。其かはり長崎縣は花柳病の多い事九州第一なるもトラホームの患者の少い事又九州第一である。

先に日本全國中にて壯丁檢査の結果、花柳病患者の最多の縣の情況を述べたるが、今度は反對の最も少い縣の風致情態を述べやうと思ふ。

即ち長崎縣は檢査壯丁人員千に對し花柳病四八、二五に當り(前號にある表を參照の事)全國第一、群馬縣は同六、八七にて長崎縣の七分の一である長崎縣には二三の郡を除くの外娼妓あり藝妓あり酌婦あり、なか／＼其方面は盛んである。群馬縣は、最初に眞島小十郎氏が廢娼の議を縣會に持出し、後に群馬縣會議員湯淺次郎氏齋藤壽雄氏等の健闘によつて廢娼以來、日本唯一の廢娼縣たる事は衆知の如くてある。群馬縣には今一人の貸座敷業者も娼妓もないのである。

藝妓が一千百六十九名、酌婦八百四十二名、料理店九百戸飲食店二百九十三戸ある。

之を隣縣に比較しても、群馬縣は娼妓はなくとも藝妓、酌婦も少く、徵兵檢査の結果を見ても好成績である。

先づお隣りの、長野、栃木、埼玉、新潟、富山、等の諸縣

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

に比較して見やうと思ふ、即ち左に掲ぐる處の第六表の如くである。

廢娼縣と存娼縣と比較
（大正九年中）

縣別		徴兵ニ査果花柳病（壯丁千人ニ對シ）	娼妓數	藝妓	酌婦	料理店	飲食店
群馬（廢娼）	八年・九年	六、八七	娼妓ナシ	大正九年 一一六九	八四二	九〇〇	三九二
長野（存娼）	八年	一五、九二	八〇七	二九二七	七九七	二九五〇	三六三六
	九年		七六七	二九二四	六六七	三〇一九	三五〇四
栃木（同）	八年	一九、三五	六三五	一〇八五	八〇一	一四五九	二六三六
	九年		六三四	一一〇三	七四三	二七〇六	一四七三
埼玉（同）	八年	一六、〇〇	五五五	五三二	一一五六	六六六	七六〇
	九年		六五五	六三〇	一一三七	六八〇	七五七
新潟（同）	八年	一三、四九	一三八六	二五一一	不認	二一七七	不認
	九年		一四八七	二五九五		三三一七	
富山（同）	八年	三八、五一	三四八	一七三〇	—	七七六	六五三
	九年		三三八	一七一二		七九四	六一三

此によつて見ても群馬縣の廢娼縣に藝妓、酌婦、等少く風教上好成績なるに引換え、近縣存娼縣の方却つて私娼多く、風教上面白からぬ統計になつてゐる。公娼を廢止したら私娼の増加などといふ事は、全然事實を知らない人の言ふ事である。

山梨縣の徴兵檢査の細表については、五月號に掲載して詳い郡別に調査したるものを以てせし故、該方面は省略した、公私娼の方面は山梨縣は非常に少く、貸座敷所在地は甲府市にて一ヶ所は南都留郡にして、夫も僅かに二軒あるのみとの事にて、全縣に貸座敷二十三戸あるのみ、娼妓は大正八年百九十名大正九年には二百名あり、藝者は大正八年に二百四十名大正九年三百三十名に増加し、酌婦は大正八年五百三十六名が大正九年に四百八十一名に減少し、料理店は大正八年に三百七十一戸のが九年に三百八十六戸に増して居る、飲食店は激増して大正八年二百九十七戸が大正九年には三百十六戸に増加した。

遊廓の登樓人員、費消金額等の合計を山梨縣下の分を見るに左の如くである。

大正八年　登樓人員　十五萬二千百四十六名
　　　　　費消金員　四十四萬千七百四十八圓
大正九年　登樓人員　十四萬八千八百四十七名
　　　　　費消金員　七十萬八千百十圓

尚南都留郡には藝妓の株式會社あり、何れも土地の有力家が株主となり居れりとの事を聞きし故、定めて株式會社なれば決算報告も主意書もあるならんと思ふて此内容を調査すべく知人に依頼したが、此稿締切迄には入手しなかつた。定めし面白い珍い内容の誌上に紹介さるゝのも必ず近きことであらう。

尚引續いて他の方面の興味ある風教問題を述べて見ようと思ふ。（つゞく以下次號）

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

今は大英斷の秋

法學博士 山脇 玄

◇工業の衰退と政府の大責任

現代の日本では政治界でも教育界でも、熟々之を觀察して居ると一般の國民よりも、特に政府當局の遣方が甚だ緩慢で實に隔靴搔痒の感に堪へないのである。歐羅巴各國の如きは今度の世界的大動亂の渦中に投じた彼の莫大な經費を何んの苦もなくドシ／＼回收して居るが、實に是れは吾々日本國民に取つては豫想以外の事である。

此の大戰亂の爲に滅茶苦茶に敵に潰ぶされた彼の獨逸は、既に製造工業を挽回して、獨逸の天地は黑煙朦々たる有様であるが、翻つて我國工業界を一瞥すると、遺憾ながら最早衰退の徴候を呈して居ると云ふ樣な狀態である。專門家の說に由ると日本の石炭の生命は僅かに六十年と論じ、鐵も亦常に缺乏して居る、我々からいふと彼の世界的大戰亂の眞最中に支那の地下に埋沒して居る石炭や鐵を盛んに掘して、日本の工業を勃興させたかつたのである。然し今日でも晩時ながら支那政府の理解を求め、其の裕かな資金と勞銀の低廉な勞働者を手に入れて、盛んに日本の製造工業を發展させる方が宜敷い。又製產品の販路に就て考へて見ると、日本が一時手を延ばして居た南洋方面は既に歐米から驅逐されて來た樣である。然し幸ひにして露國なんかは未開國だから、歐米の商品よりも寧ろ日本の製產品を歡迎する樣な傾向もあるから此際宜しく露國政府と特別な契約を締結するのも一策であるが、兎に角原料の供給も販路の擴張も政府自ら之れを遣らなくてはいけないと云ふのが私の持論である。そして實業家の方でも利己主義を棄て、自分の爲めと同時に社會の利益を圖り、主として得意先本位と云ふ事を重んじて貰い度い。

◇國民教育の徹底

政治も教育も形式的には進歩して居るが、其の實質に至つては誠に幼稚である、日本が五大列强の仲間に這入つたのは只だ陸海軍が强いと云ふ爲であつて、他の點に於ては何等歐米に優れて居る處がないのである。そして日本の此の缺陷を補足し改善するには、日本全國各地方の隅々まで國民教育を普及せしめ、且つ發展せしめるより外には全く採る可き道がない事を斷言して憚らない處である。殊に危險思想を防禦するには是非此の國民教育の力に依つて、我國の皇室と臣民とは實に密接な父子の關係を有して、我が國體が何れの國にも

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

見出し得ない世界無比なる所以を、國民全般の脳裡に徹底する様に教育しければないのである。
詰込主義の教育界の大缺點である、それから中學、高等女學、專門學校、大學何れも其生徒や學生は試驗制度の爲に苦められ、卒業して見ると既に三十前後の成人となつて居る、而も其の卒業生は百圓位ゐの俸給では到底家族を養ふ事も出來ない。從て研究も不可能、同時に生活は愈々困難になると云ふ此の現象に向つては、國民も政府も特に誠實と堅忍と勇氣を以て一大改善を施すべき必要がある。

◇男女の共學を斷行せよ

政府當局は女子の高等教育に向つて餘り緩慢であるから、大多數の專門學校や大學を卒業した男子は、彼の幼稚な高等女學以上の教育を受けた婦人を迎へる事は甚だ困難である。それで餘り甚しい教育の不權衡の爲めに趣味や理想も調和が取れず從て家庭が圓滿に治まつて行かないのであるが、是れは其の原因を考へると解り切つた結果である。

私なんかは高等教育を希望する女子は、專門學校でも大學でもドシ／＼男子の學校に入學させる事を主張するのであるが、文部省では此の男女混淆教育に對して非常に反對する。然し今の場合女子に對しては滿足な高等教育機關の設備もなく、又希望者も少數であるから、男子の學校に入學させるのが最も輕便で、而も經濟的であるのみならず、混淆教育は男女互に奮發心を喚起され、智識の進歩を促され、茲に教育の實質は益々發達し、又互に異性の諒解が出來て、健實な結婚が行はれる様になるから、我國古來の媒人結婚なんて云ふ彼の幼稚な、未開的な、愚劣極る結婚法を改良するにも、實に有力な方法だと思ふ。

向ほ序でだが、現代日本の結婚は上流になればなる程、人と人との結婚でなく、家と家との結婚である、そこで上流の家庭ほど缺點が多い、其れが餘り問題になつて起つて來ないのは、只だ世間に曝露しない爲である。然し下層社會になると比較的男女とも相方を理解した、人と人との結婚で、而も夫婦共稼ぎである、又鳥渡した夫婦喧嘩でも直ぐ隣り近所に響き渡るが、其の割合には上流の様な大問題も起らないのであつて、上流社會よりも遥かに完全で圓滿だと思ふ。

◇先づ家庭教育の改良から

日本では今改造改造と云つて絶叫して居るが、成る程形式上に於て備はつて居る丈で、政治も教育も其他凡ゆる方面に於て、之を運用する人に誠實と堅忍と勇氣が缺乏して居るから、其の内容を充實せしめ、發達せしめる事が更に出來ない。そして日本では特に家庭の改良が頗る急務である、小供は小學校に入學する以前に於て既に人間が出來て居るのである、ギヤッと產れ落ちてから六七年の間に人間の土臺が出來るのである。此の子供の時代の家庭教育と云ふものが、將來に於ける成年時代の運命を左右するものであつて、此の間に十二分の注意を拂つて家庭教育を施しておけば既に教育の第一步に成功せりと云へる。然るに日本の家庭では此の點に向つても頗る無頓着で、冷淡であつて、徒らに學校教育にばかり全

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

責任を負はせようとする傾向があるのは甚だ遺憾千萬な理けてある。

◇公設市場官營の大急務

日本の遣り方は何でも間に合はせ主義である。醫者にすれば膏藥主義で根本的の治療をせず、消防夫なら火災を根本から起さない様にはしないで、只だ出火したのを防ぐ丈の事しかやらない様なものである。又恰も臭い物に蠅と云つた風に臭い其物を取り除けないから幾度追い拂つても又蠅が飛んで來る様な有様であるが、是れは要するに政府も國民も勇氣と堅忍と誠實が缺乏して居る爲である。

卑近な例を探ると彼の公設市場の如きも、生活難の救濟策として最初は自分も非常に其の必要を主張したが、今の様に物品は粗惡で、而も高價で、設備にしても雨天には傘をさしたまゝ狹い所で幾人も幾人も混雜して買物しなくちやならない様ては全然私なんかの理想とは違つて居る、從て市民も餘り豫期の様にに歡迎して居ないのである。

私は度々繰り返す通り、肴は房州方面から問屋が仕入れて來るのを小賣商が買出して、幾重にも〱手數料が重複して來るから、徒らに商人に暴利を縮められて、一般の市民は無茶に高價な肴を買つて居る、米にしても農民は五分位ゐの利益しか取つて居ない相だが、矢張り仲買や小賣商が中間で暴利を取るのだから、僅かの收入で辛い暮しをして居る人なんかは誠に不利益な事になつて居る。それで此の際一般の市民が團結して今一層熱烈な勇氣と堅忍と誠實の大精神を發揮して市**廳**や府**廳**に肉迫して、眞劍な交渉を持ちかけるならば、米の法定價格制度でも、凡ゆる生活に必要な日用品の官營組織でも必ず斷行される事を確信して居る。

◇自治體の腐敗と住宅問題

建築でも市町村に委せて置くのは甚だ不利益である。各縣に土木課を設置して居るから、學校でも病院でも役所でも、其他總て建築の裏面には不正手段が潜んで居る。皆な各自の懷ろを肥やして居る。今度の東京市區會議員選擧を見ても、政友會が自治體にまで毒手を延ばすなんて根本的に間違つて居る、又地方でゝ政黨の惡勢が無遠慮に自治體を蠶食して、日本にはまだ眞の自治體はないのであるから、住宅の建築でも自治體に委せては甚だ不利益な點が多い、第一建築の場所の如きも實に不適當である、之も政府當局が國民に對する誠實の心を以て、住宅官營策を斷行して、彼の粗惡で非衞生的な家屋を亂造して徒らに不當な屋賃を貪る憎惡すべき屋主の橫暴から國民を救濟する責任がある。不完全な借家法案なんかを發布した處で矢張り之れも膏藥主義に過ぎないから更に用をなさない。それで政府は此際大英斷を以て總て根本的の政策を取つて貰ひ度いものである。

以上は前後錯雜して甚だ不得領の點も尠くないと思ふが兎に角く現代の日本では政府も國民も共に堅忍と誠實と勇猛な大精神を以て、國家や社會の凡ゆる問題に對して飽までも大英斷を以て根本的に改善し、光榮ある世界無比の國體を持つて居る我が國をして、益々發展させて貰い度いのであるが其の改善策の根本的方法としても國民教育の普及と徹底と云ふ事が最も重大な要點である事を主張して止まない。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

太平洋會議の諸問題に就て

衆議院議員　尾崎行雄

□太平洋會議の順序と極東の諸問題

軍備制限問題は今春陳べたのであるから、今回は太平洋問題に就て陳べ、それより軍備制限問題に及ぶこととせん。由來太平洋會議の問題は軍備制限の問題である。太平洋會議が之を決定することが出來れば成功であると思ふ。その他色々の問題はあるが、然し其の他の問題は一つ片付けば又後から〳〵と湧いて來る。此の點で今回の會議を軍備制限だけに限らなかつたことは米國の失敗であつたと思ふ。從つて軍備制限を離れた獨立した極東問題とか太平洋問題とかを、其の儘だけて議題とすることは不可であつて、害あるも決して益はない。私の如き軍備制限を熱心に思ふ者は甚だ遺憾に思ふのである。又太平洋會議に於ける議題制限と云ふことも不必要である。主催國たる米國と雖も之を決する權利はない。況んや日本に於てをや、各國が夫れ〳〵に集つて會議の成功を期し討議をすれば可いのである。

然るに日本より會議の範圍であるとか、既定の事實、特種國などと申して提議したのは机上の問題である。殊に既定云云は愚の至りである。日本から見れば既定であるやも知れぬけれども、支那や米國は承認せず隨つて調印せぬのであるから、既定の事實と申すことは出來ぬのである。兎に角その箇箇の問題に就て見るも、支那に對する二十一ヶ條其の他の事に就ては隨分余としても懺悔すべきものがあるが、二十一ヶ條中の空文に歸したものはどし〳〵讓つて差支あるまいと思ふ。ヤップ問題の如きも萬國電信の會議に於て定むる豫定になつて居るので、何れを讓つても決して差支ないものである。然るに外務省では隨分に理窟を並べたのである。又山東問題も同様である。誠意誠心を盡して接衝するならば解決は困難でないと思ふ。彼の二十一ヶ條問題の如きも、日本は外交的手腕に於て支那に負けたのである。實は十五六ヶ條と希望條件五六ヶ條だけであつた。そして祕密と云ふことにしたのであるけれども、支那は全部發表して仕舞つて二十一ヶ條としたのである、又米國が二十一ヶ條中の五項の如きも祕密にしたのは甚だ不都合である。

□門戸開放機會均等と移民問題

又山東問題も實際膠州灣問題に過ぎぬ。然し支那人の宣傳の爲めに山東問題々々と誇大に吹聽せられて、遂に山東問題

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

にして仕舞はれたのである。從來の對支關係を大久保、伊藤、陸奥、加藤等の外交接衝の經過に就いて見るも、一として道理を鬪はして支那人に勝つたものはない。道理の方から論ずるならば支那人の頭が冴えて居る。支那は日本よりも二十年前から外交上の問題に携はつたのであるから、支那人の方が優れて居る筈である。それ故に是等の問題を片付けるのに非常の困難はあるが、若し誠心誠意日支協同するならば宜しいけれども、之を食い物にすると云ふ樣な考が心の内にあるならば、眞の日支親善が出來樣筈がない。此根柢に於て誤りたる思想を大に改むべきである。四億の人間は容易に欺くことが出來ぬのである。我が同胞は凡有問題に就て楯の半面を見て兩面を見る力がない。兩面を見る人ならば眞の解決をなし得るのである。

又門戸開放機會均等であるが、日本の中でも之を機會に此の主張を太平洋の彼岸にも及ぼし、移民問題までも解決せよと唱へるものがあるが、思はざるの甚しきものである。門戸開放機會均等と云ふことは既に二十年來商業上の意味に定義されてあつて、其の他のことには及んで居ない。移民のことも日本としては重大であらうが、米國濠洲の立場をも考へてやらなければならぬ。一、二年前一人の黒人が此東京に來り或る西洋料理店に雇はれたのであるが、客がその黒人を嫌ふために西洋料理店の營業が衰微して、遂に廢業の憂き目に遇つたと云ふ事である。それ故に若し日本に一萬人の黒人の移民でも來たならば、それこそ此日本では湧き歸る樣な騷ぎ立つ問題となるてあらう。人種問題をヴェルサイユ會議に出したのも、恐らくそれ以上に人道上の理想に基いて提示したものではあるまい。但し人口の問題は餘り上品な問題ではないばかりでなく、人間が犬や猫と同じやうにやたらに子孫の繁殖を圖ると云ふことが何う云ふものか、之も考へなければならぬ。

□軍備制限に對する歐米諸國の熱誠

又關東州は日清日露の兩戰役の歷史を有するものである。所謂國運を賭して取りたるものであるから、列國は反對せぬ。南滿鐵道の如きも日露戰爭に由る武力で獲得したものであるから、若しその條約が總て惡いと云ふならば皆崩れる。そして支那の主張する通りにするならば却つて世界の平和を崩すことになる。又隣接せる國土の境界に注意せなければならぬ。露西亞問題の如きは日本の方が惡い。そして自分勝手に不利の地位に陷るのである。戰爭後は總て一打ちにやらるゝのである。それ故に總て兩方の都合を考へなければならぬ。唯人口の吐け場を得なければならぬとの理窟は、今尚ほ世界に通用する。然し之も早晚行詰るものであることを覺悟せなければならぬ。又軍備制限の方面から考ふるのに、如何に問題は解決されても軍備がある以上は戰爭は何時でも起り得るのである。サラクボオの一青年ゝ僅かな行動でさへも直ぐ戰爭は起るのである。故に私は今回の會議に於て、その意味で軍備の制限だけでも成立さしたいと思ふ。殊に文明の進歩は先頃の大戰ても經驗したことであるが、今後は更に〳〵大なる損害と大なる悲慘なる情態を演ずるてあらう。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

我が國の租税は七億五六千萬圓で、軍備費が七億八千萬圓である。私は此軍備縮小問題に努力したけれども、微力であつて充分なる效果を擧ぐることが出來ぬから、新進氣鋭の諸君が大いに努力せられんことを希望するのである。過去の發達は軍事的努力に依つたのであるから、將來もさうだらうと云ふ議論になり易いが、軍備の金を商工業に消費し又は教育に消費したならば、帝國の國運が軍事以上に發達すべきは論を俟たぬことである。今回の戰爭に依りて世界の人心が一變した。日露戰爭には人口の一割前後が死傷率であつたが、今回の戰爭には實に三割以上の死傷率である。そして戰敗國が悲慘なる狀態であるばかりでなく、戰勝國たる佛伊兩國の如きも將來如何になり行くか疑問である位である。唯米英だけが宜しい。又獨逸は戰爭の當初と休戰の當時を比較するならば、飛行機潜航艇その他の武器は非常なる進歩發達を遂げたのである。又毒瓦斯の如きは空氣より重きものを發明したので、その毒瓦斯が人間に觸れるならば直ちに死するのみならず、毒液地面に浸潤するならば七年間一本の草も生えないと云ふ恐るべき結果を生ずるのである。然しながら是等の武器の制限は不可能であるから、寧ろ戰費を儉約するならばそれだけ害を除き利益を得るのである。軍備縮少は軍費縮少としたい。軍費を少なくするとは、例のボーラー案であつて戰費を半分にすると云ふのである。由來陸海軍及航空隊の費用は總歲出の一割とすべきである。然るに現在歐米では二割以上三割迄を消費して居る。日本は總歲出の二割卽ち三億圓を消費するとしても、四億八千萬圓の餘裕が出來るのであるから之を產業、教育其の他の諸問題に向つて解決を與へ最も有效有益に消費することが出來ると信ずるのである。大體日本の一般の空氣が歐米のそれに比するならば餘程立ち遲れて居つて著しき差違がある。歐米では軍費節減をせねばならぬ國民全體が承知せぬと云ふ眞摯熱烈なる態度と眞劍の精神を有し一般の空氣が非常に緊張して居る。吾々も彼等に劣らざる眞面目と熱誠を以て、此重要なる問題の解決に當らねばならぬ。そして我國が正義人道に由つて立つて居る國であることを世界に證明せねばならぬ。（講演要領文責在記者）

私の趣味

安部磯雄

私にも色々趣味と稱すべきものはありますが、その中著しいものはベースボールです。ベースボールの面白味は九人の遊戯者が恰も一人であるかの如く動作する點にあるのです。ベースボールは勇氣と敏捷なる判斷力と、團體的精神とを私共に訓練させます。

宮田脩

私の趣味は多角性であつて、建築もおもしろく、藝術もおもしろく、自然もおもしろく、旅行もおもしろく森羅萬象一として面白くない物はありません。だがその中で最も多くの時間と勞力と費用とをかけても味ひたいと思ふのは。旅行と書物の蒐集です。

平沼淑郎

誠に恥入り候へども、生來魯鈍の小生風雅の道も心得申さず、從つて趣味と申すべき程のものも無之候。強いて言はゞ旅行の途次汽車の中で平仄並べを試みるくらゐのことに御座候。

三輪田元道

私は音樂繪畫等も好きです。詩歌等一般藝術も好きです。しかし就中最も好きなものは園藝であります。園藝は大自然に親しむ捷徑でありますから、この趣味を社會に宣傳したいと思ひます。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

愛と自由と誠

廓清會評議員
三輪田女學校長　三輪田元道

□茶代と醜業婦氣分

我國現代社會の裏面を深く洞察すると實に卑しむ可き、聞くだに嘔吐を催し度くなる樣な、彼の醜業婦氣分が、津々浦々まで横溢して、社會の各方面を毒して居ると思ふ。

今の日本の社會は形式的には進歩して居るかも知れないが內面的には虛僞と僞善と虛榮が徹底的に國民を毒して居る。具體的の實例を擧げて見ると、目下東京市の旅館組合が廢止運動を起して、尚ほ日本全國にも其の運動を試み樣として居る彼の茶代の如きも、矢張り其の起源を尋ねると、醜業婦氣分に胚胎して居るのである。

…旅館では愛嬌を振り蒔いたり茶菓を供したりして、飽までも旅客の御氣嫌を取る事に勤めて、成る可く澤山の茶代を貰はうとする、そして若し客が茶代を與れないとか、或は僅かしか置いて行かない場合には、客の後ろでは舌を出したり、或は滿足に茶代を與れた客とは全然異なつた待遇をする。是れが即ち醜業婦氣分に起因して居るのである。反對に旅客の方を考へて見ると自分の內は見窄しい住いであつても旅館では絹の蒲團にくるまり、豫ねては澤庵を齧りながらも旅館では美味美食を貪り、番頭や女中からは尊敬され樣なんと云ふ詰らない考へを持つて、心にもない見えを張りたがる、それで矢張り旅客と旅館と双方とも注意する必要がある。先年私が富士に登る時、よい強力を手に入れるには傭ふ前に茶代を遣る必要があると云つて友人に勸められたから、私の之までの生涯中此の時丈けは思ひ切つて試みに其の通りやつた。處が隣りの客を別の部屋に移して私を其の良い部屋に入れて與れたが、其の追い出された客は甚だ困つて居たので實に何んとも云へない氣の毒な感じがした、そして強力も良いのが來た。然しさあ此處だなと私は思つた。文明國中何處に行つても茶代なんと云ふものは決して無いのに唯だ日本丈けあると云ふのは甚だ不都合であるから是非とも何んとかして速かに全廢して貰い度いものである。

□選擧界にも醜業婦氣分

私は普通選擧の贊成者であるが、今區會、市會、縣會、國會其の他何れの方面を問はず我國の選擧の有樣を觀ると成程表面では無記名投票だが、一級と二級の如きは全く記名投票と何等の差異をも存しないのである。そして戶別訪問で平身低頭して知人や親類を賴り、情實〱で運動を進めて行くから、選擧者の自由意思に依る選擧が實現されない譯である。而も戶別訪問を受けた選擧人の方でも、

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ハイ〳〵承知しましたと云ひつ放して、決して其の通り實行しないのもあるし、候補者の方でもあんな者に世話になるものかと思つて居ながら、平身低頭して御世辭を振り蒔いて居るが、此の選擧界の眞相を觀察すると、我國の選擧界には此の醜業婦氣分なるものが至る所に橫溢して居て絕えず各方面の社會を紊亂さして居ると思ふ。私は希望もしないし、勿論運動もしないが或る事情の爲厭や厭やながら已を得ず區會議員をして居るが、是等選擧界の內情は私の經驗でない事を特に斷はつて置く次第である。

□武力と暴力の跋扈

各國では今世界的平和を叫ばれて居るにも拘はらず、日本では英語のマイト獨乙語のマハト卽ち力と云ふ事が切りに高調されて居るが、此の力とは卽ち壓迫を意味するものであつて、之れが醜業婦界に潛在して居る力と同しものであつて、人格の力でなく暴力的の力である。若し此の力が今後の日本に益 勢いを逞しくして來るならばそれこそ危險千萬であつて、實に私は此の際愛と自由と誠の力を以て社會の各方面を改善し革新する事が刻下の最大急務だと確信して居る。神社佛閣に紀念品を備えるにも武力や暴力を示すものばかりでなく、其の反面には拜觀者をして仁德の精神を喚起せしむべき紀念品を陳列して貰い度いのは、私が多年主張して止まない處である。

何時も私は各種の宴會に出席する度に痛切に感ずる事が一つある、それは抑宴會と云ふものは人類の社會 生活中に於て實に樂しいものである筈だが、少し醉いが廻ると直ぐ議論や喧嘩が始まる、是れが卽ち愛や自由や誠の力でなく所謂醜業婦界の裏面に潛む壓迫的な力であつて、人類社會をして絕えず殺風景に又野蠻的にして行く原因である。

□入學試驗は手段に非ず

遠からず可愛い日本全國の兒童を脅やかすのは彼の中學や女學校の入學試驗である、實に小さい可愛い希望と悅びを持つて集つて來る大多數の兒童を振落すのは此の試驗である。實に彼れ等小年小女は、何んとかして兄さんと一緖にあの中學の帽子を冠り度い、あの學校に合格して姉さんと同じ様にあの寄宿舍で勉强し度いと云ふ様な希望を抱いて來るのに遠慮なくドシ〳〵振り落されるのだから、幼な心にも其の悲哀と苦痛は誠に言語に名狀し能はない程である、そこで父兄や兄弟や姉妹は徹夜までして兎に角試驗の關門を通過さへすれば宜いのだ。成績の優劣なんか此の際問題でない只だあの學校を卒業させさへすればしめたものだと云つた様な風で、日本では神聖な敎育を渡世上一種の手段として考えて居るが、必ずしも入學試驗の關門を通過した兒童だからと云つて良好な生徒だとは云えない、卽ち之れも目的の爲には手段を選ばないと云ふ遣り方で其の心理狀態の裏面を深く洞察すると矢張り彼の卑しむ可き醜業婦氣分に關係して居るのである。

實に愛と自由と誠なる、此の三大精神より觀て、最も不都合なものは私娼と公娼である。そこで須らく先づ第一に此の野蠻的なものを全廢して、我國社會の各方面を穢して居る此の醜業婦氣分なるものを撲滅して、此の社會を根本的に改善し、以て吾々人類の社會生活をしてもつと淸潔幸福なものにし度いものである。

年末に一年間の我を省みて

救世軍大佐
廓清會評議員　山室軍平

(上)靴の裏の砂

獨逸の或地方にて配達せられた品物が中身は脱き去られて砂ばかりつめてあつた。それを其の道の學者が研究し、此の砂は某の驛か、若くは其の附近にしかない砂であるといふことを見出した故。乃ち其の驛に就いて取調をすると、直ぐに犯人が解かつたといふ話がある。見る人があつて見れば數粒の砂さへ、どれ程人の秘密を語るものか知れない。

試みに靴の裏に附着した細かい砂が、銘々其の身の上を語ることが出來たと考へて御覽なされ。小さい靴の裏に着いた砂はいふてあらう。「此の靴の主は、今日學校に行く途中で友達と喧嘩しました」と。きらきらと光る靴の裏に着いた砂はいふかも知れぬ。「此の靴の主は今日役所から自宅に歸る途中で待合に寄りました」と。或靴の裏の砂は、其の主が物見遊山に時を過したことを語り。或靴の裏の砂は、其の主が酒飲みに行きたることを證言し。其の他にも靴の主人をして、穴あらば地にも入りたい思をさするものが、幾らもあることかと考へられる。

しかし乍ら聖書には、「天に獨りの神ありて秘密をあらはし給ふ」とある。隠れたるものは顯はさるゝてあらう。暗い所で行ふたことは明るみに持出さるゝであらう。「其の罪を隠す者は榮ゆることなし、されどいひあらはして之を離るゝ者は憐みを受けん。」年末に今年一年の我が身の行を省みて、一切の隠れたる罪と縁を切るの時機にてあらしめよ。

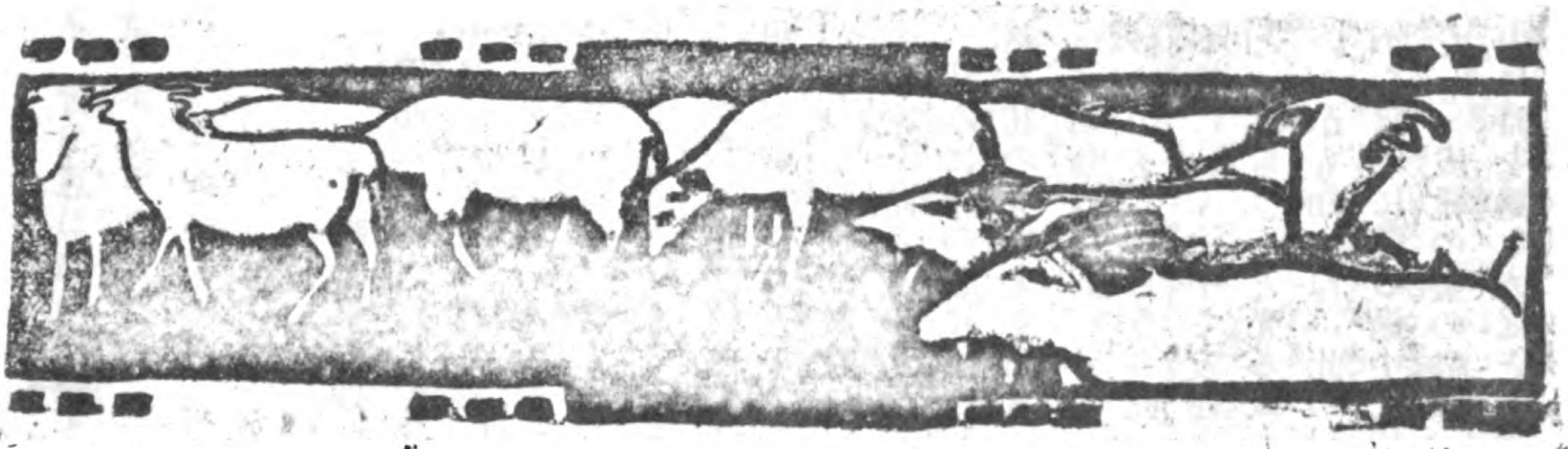
(中)飛んだやくざ者

或人がラウランド、ヒルの顔をぢつと眺めて、「貴君が若し基督に救はれて居なかつたら、貴君は飛んだやくざ者であつたらう」と、言ふと。ヒルは答へて、「全く然うに違ゐないと、自分も考へて居る」といふた。これは何にも彼一人に限つたことではない。人は神を知り、其の救を身に受くる迄は、幾ら立派な人でも、言ひ甲斐なき罪と慾との奴隷たるを免れ得ぬものである。唯大切なるは基督によりて罪から救はるゝことである。

(下)引合はぬ取引

日曜學校の教師が「引合はぬ取引」といふお話をして、「誰か聖書にある引合はぬ取引の實例を知つて居るなら、言ふて御覽なさい」といふと。一人が答へて、「エソウが一枚の羮の爲に家督の權を賣つたのは其れです。」他の一人が答へて「ユダが三十錢にて基督を敵に付したのは、其れてす。」更に他の一人が答へて、「人全世界を贏くとも其の生命を喪はゞ何の益あらんやとありますから、何を手に入れても、靈魂の救はれて居ない人は、皆引合はぬ取引をして居る人と思ひます」といふた。年の暮に銘々引合はぬ取引をして居ないかと、反省し度ものである。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY



謎の世界吉原日記（八）

元吉原病院看護婦　田口和子

八月二日（土曜日雨）

いつよりか、訪れ樣と、思つてた、矯風會本部より、大久保の慈愛館を、訪づれ、非常に、學ぶ所の多かつた事を、今日は、深く〳〵感謝した。夢に見た、矢島先生は、夢の通りに優しく、おだやかに且つ少しの、くわだかまりなき、親切な、お婆あ樣でゐらつした、わざ〳〵、斯る、小身な者のため、電話でペンロツト先生（慈愛館主任）に紹介の勞も、取つて下さるのみならす、初めての道なればとて、態々一人の、少女に、じて、直接、慈愛館まで、案內して、下さ命つたり。……斯くして、又、先方に於ても、身に余る懇切な說明を急がしい中から、ペンロツト樣、御自身全館を案內してお見せ下さつたのである、立ち樹の多い、郊外の靜かさも、如何に、衞生的、又は、心靈の養生所として、適してゐるか知れぬ。こゝへも、赤ん坊を世話する、若かい少女の群れ　病んて、床にある、年老ひし人や幼な子があるかと思へば、はるかに隔つた一室から、さも、これを慰める樣な、靜かな美しい讃美歌の音が、きこえて來る、何だか、天國へでも、行つた樣な氣がして、吾知らず、うつとりときゝほれ、先生が「あれが、小學部です、そのこちらが洗濯部！」と、二回目に敎へて下すつた、言葉に、びつくりして、…ふりかへつた程、私は、こゝを、よき理想鄕だと、感じて了つたのである、…しかし、いくら、好きな所とて、さいげんなければいつまでも居られれば、係員一同…（女敎役者方）が熱禱裡に、充分の感謝を　いて、お別れを告げ、深川に向つた。斯くて天地の差てある洲崎遊廓の夜を、見…またこゝの病院に付いての內情を、友より、くはしく、聞いたのである。中にもKちやんの話した緣さんの物語り、それは、以前の取締り、患者への接近は今も固く禁じられ居るも、當直の夜等、ましてやりけ雷の如き」どこでも同じ樣に、患者は少なく、眠氣はさすと云ふ、あんばい式なので、ソツと、手近かの患者を當直室に呼んで來ては、身の上話や、其他いろんな物語りをさせる、其の中で、この緣さんに付いては、どんなに、泣かされたか知れぬ、と云ふ、彼の女が卅幾つになつて、娼妓生活をする樣になつた、前の事は、しばらくおいて、人妻となり、立派に、一の家庭の人であり乍ら、家族より女なれば調法とて、少しは傾いた家運を、そのか弱い一身に負はされて、幾百の金に代へられたと云ふ、それさへ、容易ならぬ罪惡！だのに、彼の女が日每お店の大鏡の前に立つて、一人歎く樣「あゝ」この年をして、このお婆さんの樣にもふ…幾筋か！寄つたしその中に、强いて、おしろいや、べにを塗り込み、髮には十七八の娘見た樣…赤い、かけもの、かんざし等、挿されはならぬ…とは、何たる因果か！而かもきまつた夫ある身の、夜每…日每、どこの馬の骨やら、牛の骨やらわかりもせぬ男のおもちやにならねばならぬ！情けなさ…」と涕々かこつを聞きてKちやんのみならで、誰か〳〵…袖をしぼらずにゐられ樣…斯くして、二人りは、今も人目を、さけては檢査場で、眼もて、互ひに用心しなさいよ…有難ふ！」と云ふをせめてもの慰安に、してゐる！」と云ふのである、あゝ女！女！女と生れた此の幸ひをば神に感謝す可き、はづなのを！」此の矛盾制度があるばつかりに、不都合にも、「女故とて、さして困りもしない、家庭からまるで道端の蟲けらか、ゴミ見た樣！容易に、つまみ捨てられて、終ふとは餘りにも〳〵道理にかなはな過ぎるじやありませんか、あゝ！如何に、女性なればとて、いつまでか〳〵、此のまゝにしいたげられて居られ樣？　勞働問題に付いても、若かき同性が一樣に、眼覺めて來た。ましてや、此の恥づ可き、悲しむ可き、奴隷問題を、ゆるがせにしておかれようか？　乞ふ！貴樣の御健闘を、……

八月三日（日曜日、[illegible]）

夕邊はすゝめられるまゝ、遂に洲崎病院へ泊り、朝食を叔母宅に濟ます。不思議な運合で、名のみはとふより聞いてた、未知の同姓者、田口さんと云ふ、外來部の看護婦から從兄の口を通して聞いたとかつて、Kちやんの語るのが面白い…「姉さん、姉さんは別府の病院に、ゐた時やつぱり、氣の毒な一人りの、娼妓を救ひたいから、てておうちの、田でも、畑でも、少し賣つてくれ、それでなければ、身代りになつて、娼妓になつちまふつて、困らしたんですつてね！そしたら、當の娼妓つて人、逃げて了つたんですつて！ほんと？なの！」と、云ふ…私は、すぐに記憶を、五年前の湯の町時代を偲んだりして、同時に現今、門司の

某病院に看護婦として、無事勤務をして居る、片山さんの事を思ひ出したのである、て「そふ…それてしたら、安心して頂戴！その人はね、今立派に看護婦として、正して生活をしてるから!!! でも、ソレハ私の爲めにてなく、親切な巡査に救へられ自分の意志が固くつて、自由廢業を、しぬしたのよ、私！その時など、まだ、何も知らなかつたんですもの、それに、家へかへされたりなんかして、一時、消息は絕へたけれど、何も、逃げかくれ、したんじやなくてよ…」と…得心させ、なほ、病院の堪忍強き副院長と、强慢な、荒んだ性質の娼妓とが、長い間の、にらみ合ひに付いて、とふと、娼妓の方より、我折って詫びたとの、美くしい話や女優から娼妓になつた者の物語り、等…話はつきれど切りもないので辭し、久し振りに、本郷の中央小隊へ行く、歸途、又南千住行電車中て、噴飯事あつて、弱らされた、まるて「わしがはお田舍から、出だてゞ先づ、何よりやお吉原ちふとこ、見べェ…」と、云ふ風の、それが何れも活動寫りの靑年ばかり五六名！臆面もなく…「吉原はまだだかれ？　吉原はいどふ云ふ風に、行くんべえ？」と、一と停留所／＼に、車掌や隣席の人々にきいてる、こうして、いよ／＼山谷に來てから、車掌に注意されて、降りたのはいゝが、右か左かと、キョロ／＼してる、どふせ其の道なんだから、一同に敎へて行つてあげよふか知ら、でも、いや／＼！靑年のくせに、吉原(遊廓)なんかへ行く者に！誰でも此の人にきくがい、や…と心のうち、知らぬ半兵衞て氣の毒とは思ひ乍ら、御免とも云はないて、迷へる人の前を通つて、しばらく經ち、振り返つて見たら、續いて來た電車の運轉手に、きいたと見え苦笑し乍ら忙がしそうに「左り／＼つ！右に行くと龜井戶に行きますよ…チン／＼だつて。私はおかしい中にも車内て、或る二三人が「吉原／＼つて、あんまりきゝいゝ名てもないなあ」「これから又、欺されに行つて、親も泣かせりやあ自分も泣くのか！」等と、さゝやき合つてた言葉を思ひ出し、全くそうだわ、あ　質朴な、靑年達が、今十分の間にへ旣に、脩落の第一步を、越すのだ、と思ひ、何とも云へぬ、悲しみを覺へたのである。

八月五日(火曜日、晴)

七個看護婦會長樣の御盡力に依り、正しき會計を遊ばすからとの來狀に、取敢ず勤務後、麴町に出かけたけれどお愚痴說法のみきかされ今日も、空しく、引きあげて歸院す、歸途、雷門から降り、素見者氣取りて今日は千束町通をずつと、遠く「拔けられます」の大字の欠ぎから、入り込み、同町二丁目筋に出て、委許りは學生の、直ぐと、女郞心中のかたゝれを思ひ出す樣な、男の拵れが勝手に、作つた變な歌？「德川將軍さんが九州とか大阪とかへ、視察にお出て、勇揚な大名振りを至る所で發揮する」と云ふ意ゝを、芝居の文句がゝりて、ヴァイオリンもて、大聲に、うなつてる側を通り、一丁目に入らずして、中筋ちを歸つてると角海老樓の側て、大勢の人だかり、又酒呑み騷ぎか！と、心にも止めず行き過ぎ樣としたら、眼の前の交番から、突然……實に宙を飛ぶとはあの事か…と思はれる程の早やさて、走り出た一人りの男があり、あつけに取られて見てる內ち、巡査や、ゆかたがけの番頭見た樣な者…が、續いて、かけ出て「…クソツ／＼…この奴コラ／＼…等と、聲を限りに、又宙をとんでおつかけた、群衆はドッと亂れて、又、その方…仲之町を登り始めたのである、何の爲めかは知られど、いづれは登樓して、金に窮した結果てあるは焔然の模樣てわかつてる事だが、淺間しい活忠劇を、この里に於ては、奇ふして、每晚／＼、くり返してるのかと、つく／＼いやになつた、交番も、無くいやな事だろふと、察しられた。

八月九日(金曜日、晴)

當直番…診温し乍ら、隔離室て、此文は、もふずつと全快に近むいた二人の患者さんと物語る、一人りは親の爲め食しく食ふに困らぬ乍ら「いゝ風姿はされるし、親孝行者！と云はれたさになつた」と云ふ、一人は「何より手つ取り早い職業だから、會社なんかに出て、汗を流すよりか」と云ふ氣になつて、親も、敎してさしたのだ、と云ふ！斯くて其の結果は今…親孝行所てなく、ありとあらゆる男子を片つ端から、親不孝の道に引きずり込み、自分も、大の親不孝者として、立たればならぬ破目になり、手つ取り早いと思つた職業は盛りの年を、空しく、いつ迄／＼籠の鳥同樣に送らればならぬ、つまらなさ！一時に、何百と云ふ金を手に入れてホク／＼したのはほんの一ち時！終日勞働してゐた時はこんな體でもなかつたに、此の商賣に入つてからと云ふもの、體の樂なのに引き代へ病氣する事と云つたら、もふ年中藥りの飮み續け！衣裳は衣裳て襦袢一枚、御內所から出して貰ふわけでもな、鼻紙一枚綿半片も、自分で買ひ出さればならぬ始末だもの、あゝ？こんな事だつたら、あのまゝ女工生活を續けてたらよかつた、そうしたら今頃…私は立派に何々係りの世話役として、肩巾廣ろく立つてゆかれたのに…と、何れも／＼が深かき後悔の臍を、かんでる。私は之れをきゝ乍ら、眞實の證詞だと深く感じた、と同時に、いつぞや、信仰の友である、　姉(特種小學校に獻身的敎育の任に當れる人！)の語られし言葉を思ひ出し現在に於て殊に下流社會ては勞銀高き所より、却つて住む家こそ狹く汚なけれ…其生活振りは、中以上と云つてまあ差し支ない、と…は信ず可き事だと、思つたのである。此の姉妹！某日、この大厦高樓を取り卷いてる遊廓外の、長屋住居者の中、最も困難だろふと、思はれる家庭を訪問し、意外の感に打たれたと云ふは恰かも其時、家族が皆、晚餐してゐたので中に入るを躊躇してる折柄、顏馴染みの子供が、入り來たので、「どちらに？　ときけば、憶する所もなく「活動寫眞だよつ…晚になつたら、おつ母あと、芝居に行んだつて大得意なのですよ、狹い家所には酒德利の三ツ四ツも、亂雜にころがつてますしね、何も一寸した、斯んな事て憶說を立てるわけでもありませんが、今はいくら貧乏／＼と云つても、あなた、あゝして車の後押ししてても、一日二三圓の收入があるもんですから、あの人たちの多くは一日働らくと、次の日へ、全く休んて呑んだり寢たり、遊んだりて暮しちやうんですよ…さすがに遊廓の近所だけありますわ…あの手から見れば獨身者は無論…其の日／＼の汗の價値を、皆、遊廓に運ぶと云ふ事が明らかに想像されますわね、何にしても、氣の毒な人たちですわつ…」と、沁々語られた。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

編輯之後

▲先般九十歳の高齢を以て又また渡米され、華府會議に日本婦人も亦平和を熱望するものであることを傳へん爲め、ホハイトハウスを訪れられた矢島揖子女史は丁度陸軍卿ウヰークス氏と會談の約束をしてある時間であつたのを取消して、矢島先生を引見し、『御老體ははるばると米國迄お出で下さつたのは結構なことですそして若い者と同様に平和の爲めに御配慮下さることは有難いことです。』と述べ、約一時間會談された。

▲その矢島先生を乗せた列車が、セントポーロを出てエバンストンに向つて走つてゐる時、止まる可からざる停車場に汽車が停車した、乗客一同は何事か珍事出來したものと大騒ぎをしたが、それは日本の偉大なる老婦人に握手を求めんが爲めに、卅五哩を自働車で此驛に馳せつけた處、此驛は通過驛と分つて、それなどう交渉したものか、とう／＼赤旗をふらせて停車せしめ、數多の婦人が矢島先生に握手を求めに來たのであつた。といふことが守屋女史の通信の一節にあつた。

▲先達て安部内ケ崎向の三氏歸朝歡迎會を寶亭で開いた時のこと、矢島先生と守屋女史とが丁度列席されたので、旁々矢島先生の送別を兼れることゝなつた。そして矢島先生の答辭の一節に斯ういふのがあつた。

▲『英語の出來ない自分に、同じく不充分な守屋女史がついて行つたのでは、定めしお困りであらう、と色々御心配なすつて下さるが、併し幸に御安心下さい。神様は日本の言葉も、亞米利加の言葉も佛蘭西の言葉も何處の國の言葉も御存じでお出でになるから、神様におすがりしてゐる自分はちつとも心配はいりません』

▲前年先生が英國にお出になるのを、無謀であると反對した自分が、横濱にお見送りした時、幾多の船客が別離を惜しんで大騒ぎをしてゐる間に、泰然として椅子に腰を下してゐられる先生を見た時、始めて安堵の胸を撫て下し、之ては成程先生に取つては、日本も英國も亞米利加も、陸地も海上も同じことだ、此の超越がある（な）らば、大丈夫先生は無事に歸朝せられるといふ安心を得たが、今度又此の先生の信仰の強い、泰然なる態度に接して、同様の安心を得たのであつた。

▲島田先生が始めて普選を提唱せられた頃は、政界には殆んど顧みる者がなかつた、僅に尾崎氏が同意して呉れた位のものであつた。それがやがて段々野の聲となつて、國民黨を始めとし憲政會も獨立の生計迄に引摺られて行つた。それでも内心では賛成しなかつた證據に例の珍品問題を惹起して、黨内第一の功勞者たる島田先生を脱せしめてしまつた。而も當時廣岡氏に對し鬼の首でも取つた様にあの成金の手紙を公開して喜んだ黨員が、同時に黨の元老島田先生を逐ふことになるのに誰も氣付かなかつた位であつたが、僅に半年後とう／＼獨立生計の看板迄下して普選を黨議とすることになつたとは。イヤハヤ先生に對して加藤總裁は勿論黨員諸君は如何の顏せがある。

▲軍備の縮少にしても、先生の持論で、太平洋會議に對して、騒いでゐる世間を見たら、先生としては余く可笑しいだらう。尾崎田川氏を逐ふた、憲政會の面目那邊にありやと云ひ度くなる。普選にしても軍縮にしても先生は實に一代の先覺者である。

▲戰爭中英國などで一ヶ村悉く炊事を共同にして好成績を擧げた地方が隨分あつたが、之は亦長崎市に於て遊廓二十軒の樓主が寄合つて、其家族、娼妓、雇人等を一團とした五百餘名の共同炊事を決行することになつた。一日の賄料は二十五錢以内とし、追而場所があり次第湯屋をも兼營し、二階を娼妓等の化粧所に宛て湯屋の火力を炊事場に廻はすといふ計畫ださうな。

▲東京府下にゐる藝妓の總數は九千七百餘人である。もう少しで一萬人にならうといふ處だ、これが市内では月税が廿一圓、郡部では十二三圓から十五圓であるそこへ行くと近來遊藝師匠の名儀で同じ商賣をしてゐる者が著しく殖えたが、此方は三圓の税金だから太した相違である。今市に近い處では大塚から巣鴨、池袋だけでも四五十人の遊藝師匠がゐる。目下藝妓屋町としての許可を出願してゐるもの、許可地擴張を出願してゐるものが、警視廳に七十餘ヶ所も溜つてゐるといふ、

▲婦人の職業を求むる數は、近頃著しく増加して來たが、去る十月東京府の産婆試驗の受驗志願者は、千百六十二名で、内學說の合格者百三名、實地を併せて合格者は僅に三十四名といふ驚くべき少數であつた。又看護婦の試驗は先日警視廳で行つたが、志願者は千五十三名であつた。

▲大阪は一時藝妓成金を出した程花柳界は旺盛を極めたが、今日の不景氣時代でも、九月中に於ける大阪市内六遊廓の藝娼妓の遊興費は百五十一萬三千六百餘圓に達してゐる。藝妓の總數は三千五百八十三人、娼妓六千六百三十二人、遊客二十八萬七百七人である。

▲大正十年も愈々終りとなつた。顧みて活動の足らなかつたことを讀者諸君にお詫びいたします。來るべき新年こそは諸君の御後援の下に奮闘して、諸君の御滿足を得る様にしたいと心掛けてゐます。それに本年は各役員の都合やら私自身の都合やらで、運營の機會を掴むことが出來なくて、總會もとう／＼延期の餘儀なきに至つたことは深くお詫びいたします。

▲事務に其人を得ずして兎角不整理を免れなかつたのが、漸く最近整理を了しました、集金郵便を出さなかつた爲めに、大分會費の滞つてゐる方もありまして、一度に頂戴するのに甚だお氣の毒でした、今後は幸に好事務員を得まして、事務の方は先づ宜く行くつもりでゐます。

大正十年十二月十日印刷　（毎月一日十日發行）
大正十年十二月十日發行　（一部定價金二十錢）

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　本郷區眞砂町三十六番地　佐藤駒次郎
印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社
發行所　神田區表猿樂町七番地　廓清會發行所
電話神田四〇二〇番
振替東京二七〇七二番

◉御注文の際は必ず雑誌『廓清』による旨を申添を乞ふ◉

酒きらいになる薬

禁酒丸

一週分 一圓五十錢
二週分 二圓八十錢
三週分 四圓

どんな酒煙草のみても害なく心からきらいになる。郵券二錢送れば説明書及大澤博士其他名士の

禁酒禁煙論進呈

禁煙散

煙草きらいになる薬

金壹圓 金貳圓 金參圓

本舖 大阪靭南通二丁目 森田商店

電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二一二六番

産婦人科。小兒科

女醫 鷲山改め 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

産室及病室の設けあり随時入院の需めに應ず

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

侯爵 大隈重信序
博士 プリンス・マロー著
文學士 小松武治譯

新刊

健康と性慾

三六版百七十頁
特價三十錢税四錢

廓清會本部發行

自宅獨習生徒募集

居乍ら裁縫學校の卒業が出來る

大發展の爲め神田今川小路より小石川大塚仲町へ新築移轉し新に會員の大募集

▼裁縫は女の命　良妻賢母の第一修養と云はるゝ程の大切なもので、學問はしたが裁縫の稽古の足りなかつた爲、お姑さんには每日厭味をいはれ小姑に嘲られ人には恥をかき一生どれ程の苦勞をせなければならぬか分りませぬ。けれどもこれ迄は自分の内に居て獨習するといふ事は全く出來なかつた。其は裁縫が從來組織的に硏究されず、仕立屋流に練習一つであつたからで、今日は漸く裁縫を學問として學校で敎へる樣になつて來たが今一歩進めば地理や歷史と同樣、讀みさへすれば誰にでも分る筈のものです。そこで數年前から東京の敎育社界では色々硏究してゐましたが、遂に日本裁縫敎育會では、

▼文部省の檢定　試驗委員や東京第一の共立女子職業學校の一流の先生博士達が集まり苦心の結果、一々細かな圖解を加へて裁方も標附も縫方も手を取つて敎へるやうに、學校で敎へる通りに誰にも分る樣に說明した講習錄を作り、會員に試みた處成績頗る優良で、全國より山の如き感謝狀と共に送り來る卒業試驗成績品を見ても、東京の裁縫學校卒業生と少しも劣らぬので、敎育社界は女子敎育上の大革新と狂喜して、其講習錄を敎科書に用ひたいと申込んで來る學校も不尠、非常な成績なので、新聞雜誌は筆を揃へて賞讃し、入會者は每日潮の如し

▼皇后陛下天覽　の榮を賜ひ、尙宮殿下御五方の台覽をさへ賜はつた。此の講習錄には和服洋服、小物袋物細工物の外、檢定試驗に必要な國民道德、敎育學、敎授法、洗濯色染、試驗問題解迄も丁寧に敎へある故、通學の出來ぬ女子は勿論、家庭の主婦の歡迎頗る盛にして、學校敎員、受驗者最も多く各種女學生も陸續入會し、既に五萬人の卒業生を出すの盛況である。月謝は僅に五十五錢一ヶ年で卒業する。詳細は下記の處に見本附規則書を二錢切手封入請求すれば、直ちに送つてくれる。

東京小石川
大塚仲町

日本裁縫敎育會

電話　神田四〇二〇番
　　　小石川二八九七番
振替東京三三〇七六

●廣告主へ御用の際は必ず雜誌「廓清」による旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

——→Dr. K. TAKATA←——

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

副長（新任）醫學士　岡本鑑雄

診察每朝（但祭日及日曜の他）

院長 診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附上）

電話九段（六六二番／六六三番）

東洋內科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番

相模國茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

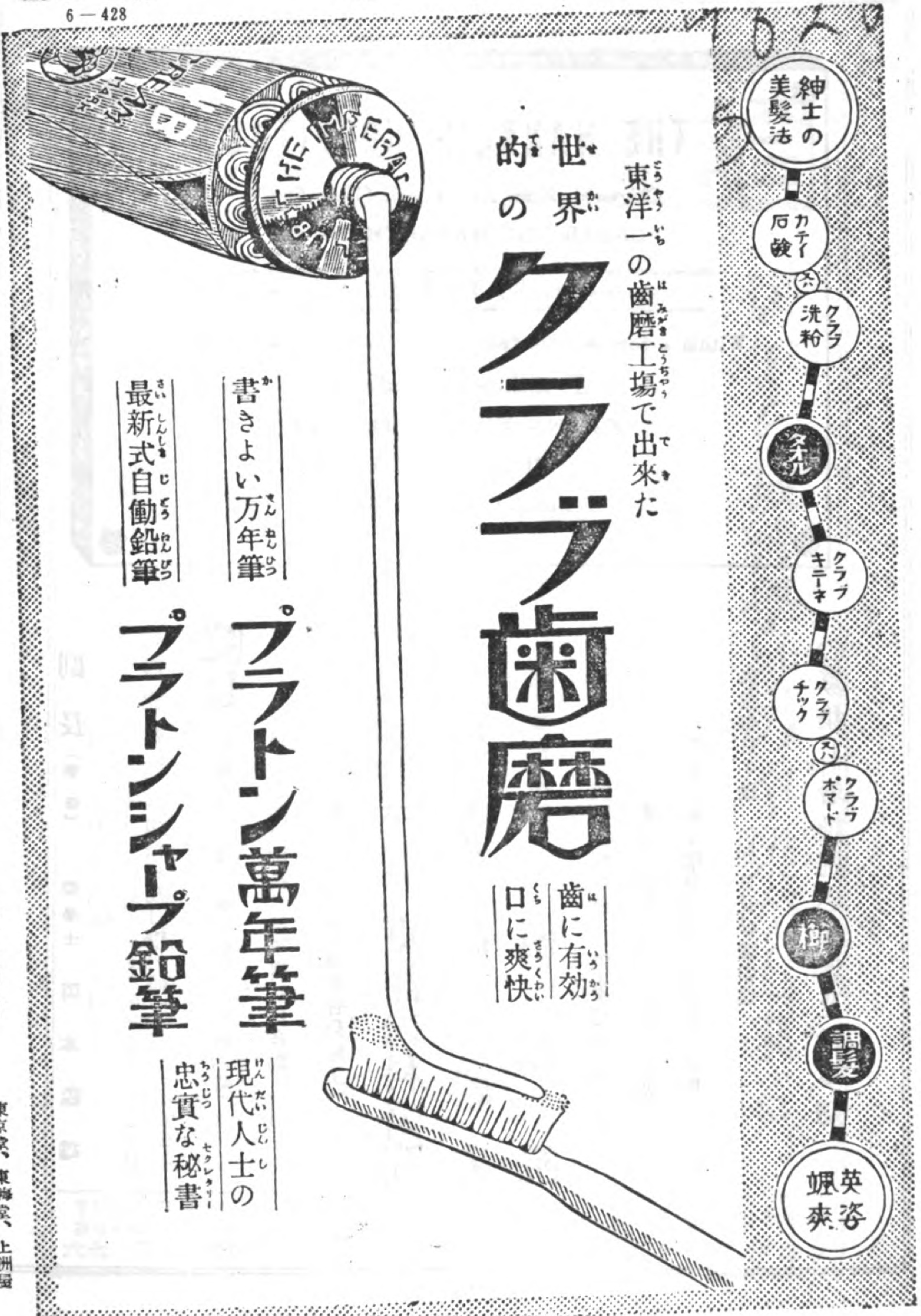
診察每日午後　但祭日及日曜の他

◎募集——看護婦志願者及雜事婦

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

6—428

大正七年十一月一日第三種郵便物認可（毎月一回十日發行）



大賣捌所
東京堂、東海堂、上洲屋
警醒社、北隆館、文明堂

定價一冊金二十錢

廓　清　復刻版　全33冊

1980年6月30日　一揃定価30万円

発行者　北　村　正　光
発行所　株式会社　龍　溪　書　舎
〒101　東京都千代田区神田小川町3-28-7
電話　03(233)0441(代)・振替東京3-76123

印刷・製本　日本プリントセンター

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

COLUMBIA UNIVERSITY LIBRARIES

This book is due on the date indicated below, or at the expiration of a definite period after the date of borrowing, as provided by the library rules or by special arrangement with the Librarian in charge.

DATE BORROWED	DATE DUE	DATE BORROWED	DATE DUE

C28

Digitized by Google

Original from COLUMBIA UNIVERSITY

COLUMBIA UNIVERSITY LIBRARIES
0057466017

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

COLUMBIA LIBRARIES OFFSITE
CU05775698

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY